GFDesign

株式会社セキュリティデザイン

取扱説明書

DVR(Digital Video Recorder)

対象製品 | **GF TVR604**
GF TVR608
GF TVR616

ver3.1（2026年11月改訂）

もくじ

機器説明書

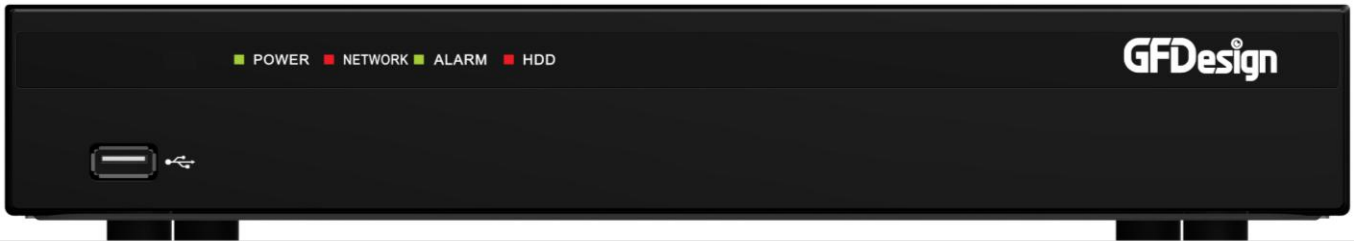
安全上のご注意 04
取扱上のお願い 06
重要 09
ハードウェア説明 10

機器設定

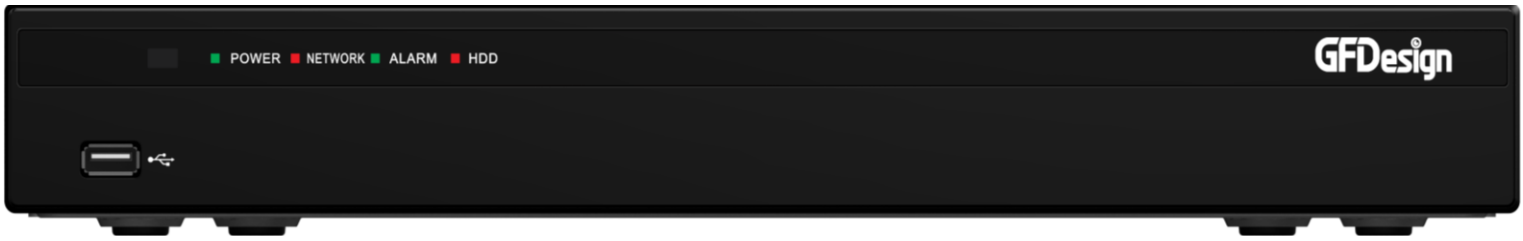
DVR動作設定 16
システム運用 18
各種設定 34
バックアッププレーヤー 51
ウェブサービス 53

別添

別添 61



GF TVR604



GF TVR608/GF TVR616

- 安全の為に本書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 本書は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
  新しい取扱説明書もしくはご購入先へのお問合せは弊社サービスホームページをご利用ください。
  (サービスホームページURL：https://securitydesign.bcart.jp/)

もくじ（詳細 1/2）

機器説明書

安全上のご注意 04
取扱上のお願い 06
重要 09
ハードウェア説明 10
概要 10
主な仕様 10
同梱品 11
背面パネルの各部の名称と機能 12
設置と接続 13
電源ケーブル接続 13
周辺機器接続 13
HDD設置 15

機器設定

DVR動作設定 16
1-1 電源オン 16
1-2 ストレージ設定 17
1-3 録画設定 17
1-4 日付/時間設定 17
1-5 ディスプレイ設定&その他設定 17
1-6 バックアップ 18
1-7 DVR情報確認 18
システム運用 18
2-1 ライブモード&アイコン 18
2-2 システムログイン 19
2-2-1 ユーザー&権限設定 19
2-2-2 ログイン 19
2-2-3 ログアウト 19
2-3 その他 19
2-3-1 分割画面&カメラ順次切替画面 20
2-3-2 スポット 21
2-3-3 ズーム 21
2-3-4 PTZを利用した画面コントロール機能 22
2-4 画面設定変更 23
2-4-1 ディスプレイ設定 23
2-4-2 スクリーンセーバー 23
2-5 制御 23
2-6 検索 24
2-6-1 検索モード 24
2-6-2 カレンダー検索 24
2-6-3 日時指定再生 24
2-6-4 最後から再生 24
2-6-5 最初から再生 24
2-6-6 前回の続きから再生 24
2-7 再生 25
2-7-1 再生と再生速度調整 25
2-7-2 カレンダー検索 26
2-7-3 マルチ時間 26
2-7-4 マルチ日 26
2-7-5 イベント再生 26
2-7-6 バックアップ 27
2-7-7 ズーム 27
2-8 ログビューアー 27
2-9 録画 28
2-9-1 録画方式 28
2-10 バックアップ 28
2-10-1 ライブビューモードでのバックアップ 28
2-10-2 検索モードでのバックアップ 29
2-10-3 ログビューアーでのバックアップ 29
2-10-4 再生モードでのバックアップ 30
2-10-5 バックアップ画面(共有) 30
2-11 設定データ保存及びアップグレード 31
2-12 ログ保存 32
2-13 スナップショット 32
2-14 QRコード(ネットワーク情報) 33
設定 34
3-1 時間 34
3-1-1 時刻同期 34
3-1-2 日時 34
3-1-3 タイムゾーン 35
3-1-4 自動再起動 35
3-2 カメラ 35
3-2-1 カメラ 35
3-2-2 PTZ 36
3-2-3 PTZ Coax制御 36
3-2-4 イベント 37
3-2-5 リレー 37
3-3 録画 37
3-3-1 録画設定(スケジュール1~4) 37
3-3-2 イベント 38
3-3-3 録画 38
3-3-4 アラーム 38
3-3-5 保持時間 38
3-3-6 ログ 39
3-3-7 Push通知 39
3-4 スケジュール 39
3-4-1 スケジュール設定 40
3-5 ストレージ 40
3-5-1 画像保存制限 40
3-5-2 HDD上書き 40
3-5-3 ハードディスク管理 41
3-6 ネットワーク 42
3-6-1 イーサネット(Ethernet) 42
3-6-2 DDNS 43
3-6-3 メール 44
3-6-4 帯域 44
3-6-5 RTSP 45

もくじ（詳細 2/2）

3-7 システム 46
3-7-1 ユーザー設定 47
3-7-2 アップグレード 48
3-7-3 工場出荷時設定 49
3-7-4 アラーム動作 49
3-7-5 アラーム保持時間 50
3-7-6 自動ログアウト 50
3-7-7 言語 50
3-7-8 ビデオロス検知時間 50
3-7-9 システムコーデック 50
3-7-10 再生時2ユーザー認証 50
3-7-11 ログアウト時映像非表示 50
4.バックアッププレーヤー 51
4-1 バックアッププレーヤー 51
4-2 バックアッププレーヤー機能 51
5.ウェブサービス 53
5-1 ウェブサービス 53
5-1-1 ウェブサービス接続 53
5-1-2 ウェブサービスの構成 54
5-2 ウェブサービス機能 55
5-2-1 PC Webビューアー 55
5-2-2 DVR情報 58
5-2-3 QRコード(ネットワーク情報) 58
5-2-4 計算機 59
5-2-5 ログビューアー 59
5-2-6 設定 60
5-3 遠隔ファームウェアアップグレード 61

別添

別添 推奨するPTZカメラのプロトコル 61

機器説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、本装置を安全に正しくお使いください。
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
記号表示の意味は次の通りです。
誤った使い方をした時に応じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

Warning 警告	「死亡や重症を負う恐れがある内容」です。
Caution 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

Warning 警告

◆ **工事は販売店にご相談ください**
工事には技術と経験が必要です。必ず販売店にご相談ください。

◆ **分解しない、改造しない**
故障と思われる場合は販売店にご相談ください。

◆ **異物を入れない**
水や金属が内部に入ると火災や感電の原因となります。
➡ 異物が入った場合、直ちに電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。

◆ **異物があるときは、すぐ使用をやめる**
煙が出る、においがする、外部が劣化するなどそのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。
➡ 放置せずに直ちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

◆ **機器の上や周囲に水などが入った容器を置かない**
水などが機器に入った場合、火災や感電の原因となります。
➡ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

◆ **電源プラグのほこりなどは定期的にとる**
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
➡ 電源プラグを抜き、乾いた布でよく拭いてください。

◆ **不安定な場所に置かない**
落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

◆ **雷が鳴りだしたら、本体や電源コード、接続したケーブルに触れない**
感電の原因となります。

◆ **濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない**
感電の原因となります。

◆ **電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない**
傷んだまま使用すると、関電・ショート・火災の原因となります。
➡ コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

◆ **アースを確実に取り付ける**
本機の電源プラグはアース端子付き2芯プラグです。アースは確実に行って使用してください。
アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。
➡ 販売店にご相談ください。(アース工事費は本製品の価格に含まれていません。)

◆ **電源をいれたまま工事、配線しない**
火災や感電の原因となります。

◆ **電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く**
コード部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

◆ **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
➡ 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

◆ **コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない**
たこ足配線などで、器具の定格を超えると発熱による火災の原因となります。

◆ **振動や強い衝撃を与えない**
火災や感電の原因となります。

Caution 注意

◆ **湿気やほこりの多い場所に設置しない**
火災や感電の原因となります。

◆ **通風口をふさがない**
内部に熱がこもり、火災や感電の原因となります。

◆ **リチウム電池は同一型名または同等品と交換する**
異なる型の電池を使用すると発熱、破裂、発火の原因となります。
➡ 交換は販売店にご相談ください。

◆ **SDHC/SDメモリーカード(別売り)は、乳幼児の手の届く場所に置かない**
誤って飲み込む恐れがあります。
➡ 万が一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医者にご相談ください。

◆ **ひび割れや変形・補修したディスクは使用しない**
内部で飛び散って故障やけがの原因となります。

◆ **リチウム電池使用上の注意**
間違った方法にてリチウム電池が交換されると危険です。使用したリチウム電池の処理する際には指定された処理方法で行ってください。

安全上のご注意

Warning 警告 Caution 注意 に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

取扱上のお願い

◆ 使用電源

電源には必ずAC100V 50Hz/60Hz電源をご使用ください。
消費電力の大きな機器(コピー機、空調機器など)と同じコンセントから電源を取らないでください。
また、水滴や水しぶきのかからない場所でご使用ください。

※付属品の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
※電源ケーブルは必ず接地してください。

◆ 電源について

本機電源「オン、オフ」をする時には背面のスイッチを利用してください。
電源は必ず分電盤のサーキットブレーカーを経由したACコンセントに接続してください。

◆ HDDについて

HDDは精密機器です。衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをしてください。
振動・衝撃はHDDの故障の原因となります。HDDに記録された情報内容は故障や損害の原因にかかわらず、万が一消失しても弊社は補償いたしかねます。
電源をいれたときや電源を切った直後(約30秒間)は、HDDが動作中です。移動や設置作業は絶対にしないでください。
HDDの寿命は使用環境によりますが、消耗劣化する部品です。通電時間が20000時間を超えると、書き込みエラーなどが発生しやすくなり、30000時間を超えると、へっとやモーターの劣化なとにより寿命となります。(＋25℃で使用時)
大切なデータが壊れないように機器の周辺温度を＋25度程度に保ち、18000時間を目安に交換することを推奨します。(但し、この時間は目安であり寿命を保証するものではありません。)

◆ 使用温度範囲

本機の使用温度範囲は＋5℃～＋40℃です。この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。
※HDDは温度が高くなると特性劣化し寿命に影響を与えます。＋25℃程度での使用を推奨します。

◆ 外部記憶装置(外付けHDDとUSBメモリー)について

コピーポートで使用できる外部記憶装置はUSB2.0に対応した外付けHDDとUSBメモリーです。

◆ 結露について

結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
以下のような場所は、目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。

- 湿気の高い場所
- 暖房した直後
- 冷房されている場所や温度や湿気の高いところに移動した場合

◆ 使用するモニターについて

モニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。

◆ 長時間使用しない場合

機能に支障をきたす場合がありますので1週間に1回程度、電源を入れて録画・再生を行い、画像を確認してください。

◆ 機器を譲渡・破棄される場合

地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報は、「個人情報」に該当する場合が含まれる場合があります。破棄、譲渡、修理などで第三者に渡す場合は、取り扱いに十分注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡等行ってください。

情報漏えいを防ぐため、廃棄・譲渡・中古販売・修理依頼等で第三者に渡す前には、必ず以下の手順ですべてのデータを消去してください。

【データ消去手順】

① 録画データ:「ハードディスク管理」(41ページ「3-5-3」)で初期化します。本機での初期化は録画データを本機から参照できない状態にするもので、ハードディスク全領域の上書き消去は行いません。録画データを完全に消去する場合は、販売店(株式会社セキュリティデザイン)または専門業者にご依頼ください。

② ログ:「ログビューアー」(27ページ「2-8」)で「ログ削除」を実行します。

③ 設定値・ユーザーID・パスワード:「工場出荷時設定」(49ページ「3-7-3」)を実行します。

④ USBメモリー等にバックアップしたデータも、パソコン等で別途消去してください。

※ データを消去しても、アップデートされたファームウェアのバージョンは維持されます。

◆ お手入れについて

電源を切り、乾いたやわらかい布で拭いてください。シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。科学ぞうきんをご使用する際には、その注意書きに従ってください。

◆ 録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができない場合の内容の補償、録画・編集した内容(データ)の損失及び直接・間接の損害に対し、当社は一切の責任を負いません。
また、本機を修理した場合(HDD以外の修理を行った場合も)においても同様です。
予めご了承ください。

取扱上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施ください。本機は屋内専用です。

◆ 以下の場所には設置しないでください。

電源には必ずAC100V 50Hz/60Hz電源をご使用ください。

- 直射日光の当たる場所
- 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- 大きい音を発する装置など、音圧による振動を発生するものの近く
- 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気(湿気)の多い場所
- 厨房など蒸気や油分の多い場所
- 傾斜のある場所
- ほこりがたまりやすい場所
- 水滴や水しぶきがかかる場所

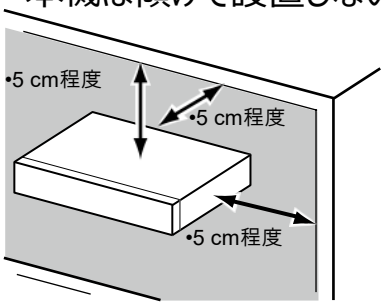
◆ 本機、ケーブルなどが簡易に破壊されるような場所には設置しないでください

◆ 雑音源は避けてください

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、画像が乱れる場合があります。
その時は雑音源から出来るだけ離すように配線するまたは本機の位置を変えてください。

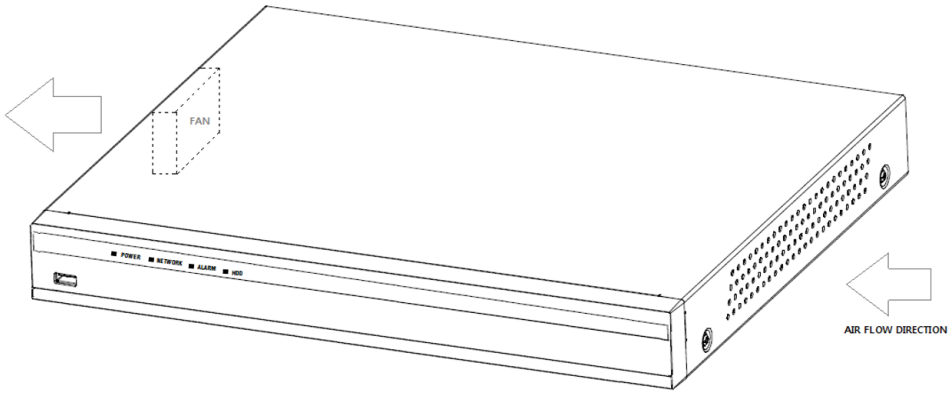
◆ **横置き(水平)で設置してください。**

本機は傾けて設置しないでください。また、本機の周囲に5cm程度の空間を確保してください。



◆ **放熱について**

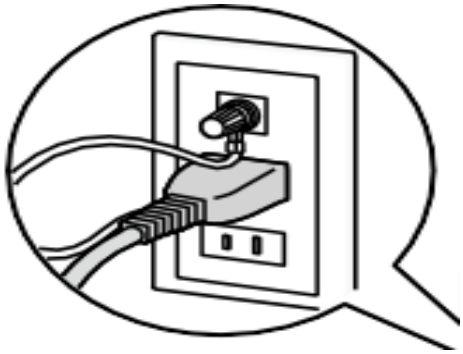
内部に熱がこもると故障の原因となりますので、以下にご注意ください。
放熱ファンの吹き出し口近くや通風口を壁やラック、布などでふさがないでください。ほこりなどで通風口がふさがれないように定期的にお手入れしてください。放熱ファンは消耗品です。
約30000時間を目安に交換してください。交換は販売店に依頼してください。
機器の側面、上面、後面は壁から5cm程度あけてください。また、側面にある通風口から空気を吸い込み、内部のHDDを冷却していますので、この通風口をふさがないでください。



※放熱ファンの数は機種によって異なります。
※放熱ファンを利用した製品の安定性が保てるよう設計された機器なので、多少の騒音が発生します。

◆ **アース(接地)について**

ご使用前にアースが正しく確実に取り付けられているか確認してください。アース端子付きコンセントを使用される場合は、設置抵抗値(100Ω以下)をご確認ください。

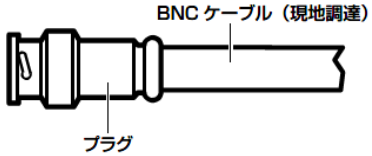


◆ **電源コードの取り付け方**

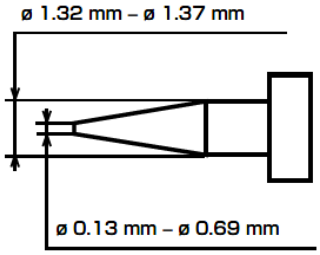
電源コードは、必ず遮断装置を経由した次のいずれかの方法で接続してください。
- 電源制御ユニットを経由して接続する。
- 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを経由して接続する。
- 3.0mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
- ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源の全ての極が遮断できるものを使用する。

◆ **BNCケーブル接続時**

機器の設置時、本機後面のBNC端子にBNCケーブル(現地調達)を使って接続する場合、指定の規格合格品をご使用ください。 ※適合プラグ JIS:C5412



推奨適合プラグのピン形状



※規格番号は改定されている場合があります。

※指定外のプラグを使用した場合、接触不良などの不具合が発生する可能性がありますので、適合プラグを使用してください。本体側のコネクターを破損する恐れがあります。

◆ **電源について**

アースは、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に接続してください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してください。

◆ **FWアップデートの重要性**

ファームウェア（FW）アップデートを適用しなかったことにより発生したセキュリティ上の問題やシステム障害について、当社は一切の責任を負いません。公開されたセキュリティアップデートは速やかに適用いただくことを強く推奨いたします。

◆サポート期間（ハードウェア）

本製品のハードウェアのサポート期間（製品保証・修理対応）は、製品販売日より5年間、または販売終了告知後3年のいずれか長い期間です。サポート終了予定日の6か月前までに告知致します。

◆セキュリティサポート期間

本製品のセキュリティアップデートの提供期間は、終了時期は未定ですが、JC-STAR適合ラベルの交付日から少なくとも2年間です。終了する場合は6か月前までに弊社ウェブサイトでお知らせします（ハードウェアのサポート期間とは異なります）。

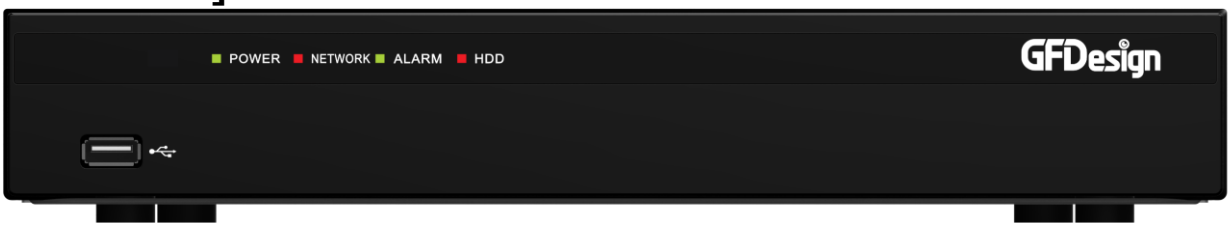
重要

- **機器の名称と電気定格は定格ラベルに表示されています。**
- **本製品を使用する前は必ず作動テストを行い、正常に作動(記録など)されていることをご確認ください。本製品や記録媒体などの使用中に、万が一これらの不具合により記録されていない場合の情報内容は補償いたしかねますので、ご容赦ください。**
- **本製品の動作状態や保証期間内、及び保証期間経過後にかかわらず、犯罪・事故等が発生した場合の損害についても、一切の責任を負いかねます。**
- **本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、一切の責任を負いかねます。**
- **本製品内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。**
- **通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または通信仕様上のやむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、それによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。**

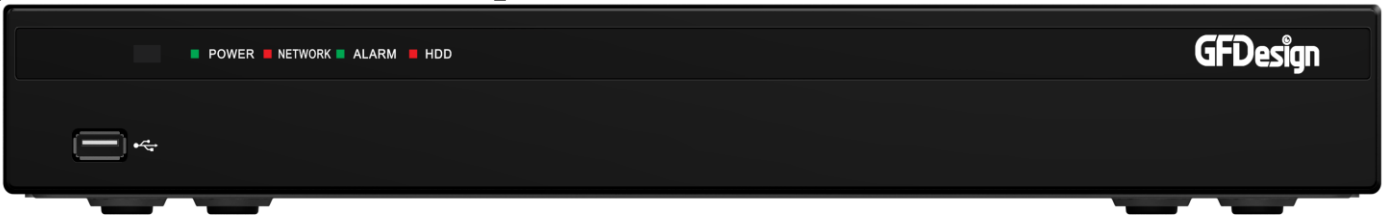
ハードウェア説明

概要

[GF TVR604]



[GF TVR608 / GF TVR616]



主な仕様

モデル		GF TVR604	GF TVR608	GF TVR616
チャンネル		4ch	8ch	16ch
システム	オペレーティングシステム	Embedded Linux フラッシュメモリー内蔵		
	操作方法	マウス、ネットワーク		
ビデオ	規格	NTSC		
	映像入力	4 BNC	8 BNC	16 BNC
	映像出力	1HDMI、1VGA、1BNC		
音声	音声入力	4 RCA	8 RCA	4 RCA+12D-SUB
	音声出力	1HDMI、1RCA		
映像録画	圧縮方式	H.264、H.265		
	録画速度	8fps/ch(8MP時)、10fps/ch(5MP時)、 15fps/ch(3MP、4MP時)、30fps/ch(2MP時)		
	解像度	4K(8MP)、5MP、4MP、3MP、2MP、960H		
	イベント	Sensor、Motion、Text		
	ビット伝送速度	512Kbps～5Mbps/Ch		
音声録音	圧縮方式	G.711u		
	サンプリングレート	16KHz		
ネットワーク	ネットワーク接続	100Mbps	1000Mbps	
	圧縮伝送方式	H.264、H.265		
	伝送速度	5fps (4K)、10fps (4MP)、20fps (2MP)		
	解像度	4K/4MP/3MP/1080P/720P/960H/D1/2CIF/CIF		

モデル		GF TVR604	GF TVR608	GF TVR616
バックアップ	接続方式	USB2.0		
	フォーマット	ビデオ(RMS・AVI形式:バックアッププレーヤー付き)、 JPEG Still イメージ、ログリスト、セットアップデータ		
アラーム保持	プリ/ポストアラーム時間	5秒/5秒~5分		
	アラームアクション	ブザー、PTZプリセット、電子メール、リレー、スポット、 イベントポップアップ、プッシュ		
	入力/出力	4/1	8/1	16/1
ディスプレイ	HDMI	UHD, QHD, FHD, SXGA, XGA		
	VGA	FHD、SXGA、XGA		
	分割画面	16/9/4/1/SEQ - ライブ、16/9/4/1		
	スポット	マニュアル、イベント、シーケンス		
外部インタフェース	PTZ/キーボード	1xRS485(端子ブロック)		
	USB	2 x USB 2.0（Front x 1 / Rear x 1）		1xUSB 2.0(Front) 1xUSB 3.0(Rear)
ストレージ	内臓デバイス	1HDD	2HDD	
その他	CoC(同軸制御)	対応		
	DDNS、DHCP、UPNP	対応		
	CMS、RMS	Windows10		
	スマートフォンビューアー	Android、IOS(iPhone、iPad)		
	Macビューアー	Apple Mac OS		
電源等	アダプター	12V/5A - レベル6		
	最大消費電力	最大60W		
	寸法	300x208x53mm	378x317x51mm	

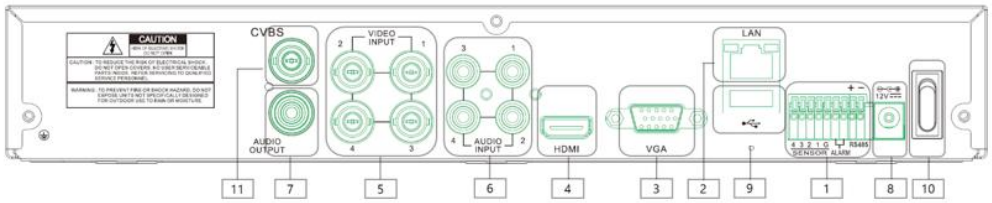
同梱品

装置の構成品は以下の通りです。付属品や破損品があった場合はお買い上げになった販売店までお申し出ください。

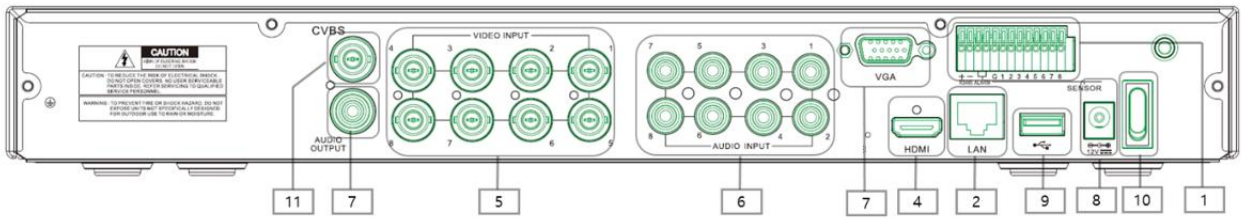
- **マウス**
- **アダプター(DC 12V/5A)**
- **簡易説明書**
- **ユーザーマニュアル(QR Code)**
- **免責事項及び注意事項**
- **ネジ(8ch,16ch製品 - HDD固定用)**
- **専用D-SUBケーブル(16ch製品のみ)**

背面パネルの各部の名称と機能

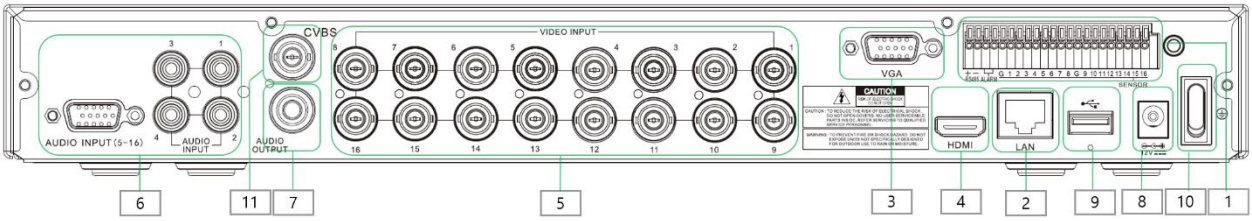
[GF TVR604]



[GF TVR608]



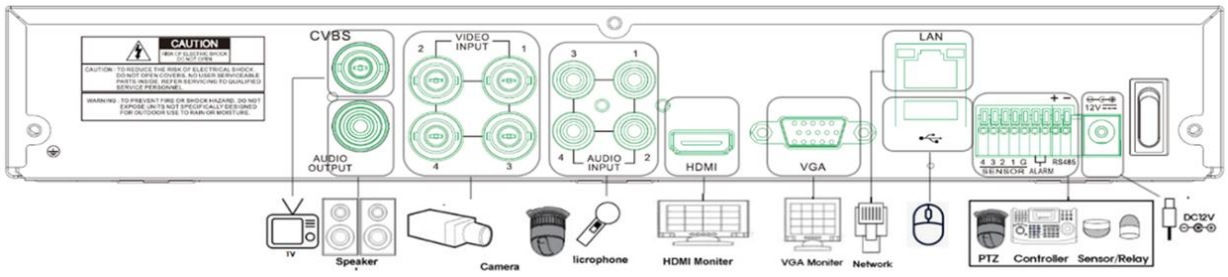
[GF TVR616]



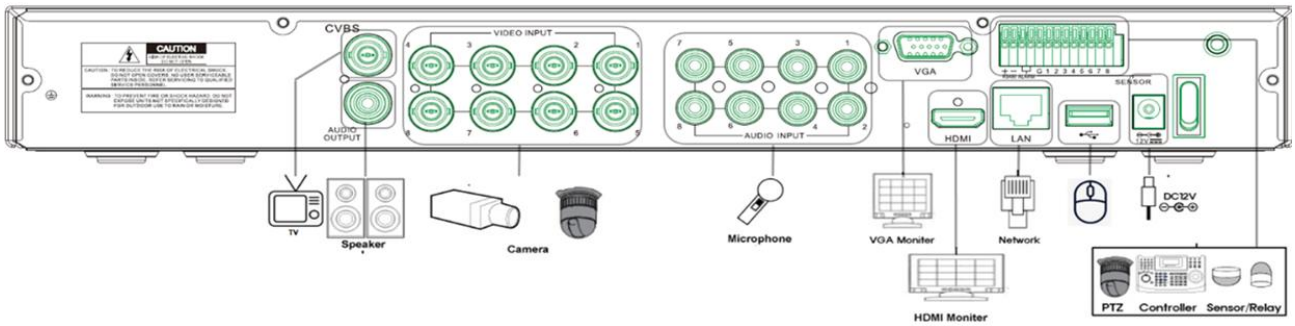
NO	名称	機能	タイプ
1	端子ブロック	RS-485/センサーイン/リレーアウト/POS	端子ブロック
2	LAN	イーサネット10/100/1Gベース-T	RJ-45
3	VGA	VGAモニタ出力	D-SUB 15P
4	HDMI	HDMI出力	HDMIタイプ-C
5	VIDEO INPUT	カメラ入力	BNC
6	AUDIO INPUT	オーディオ入力	RCA D-SUB 15P
7	AUDIO OUTPUT	オーディオ出力(Line Only出力)	RCA
8	電源	12V/5A	DCコネクター
9	USBポート	USB 2.0(16ch USB 3.0)	USB
10	電源スイッチ	スイッチ	スイッチ
11	CVBS	SDスポット(CVBS映像出力) Audio 5ch~16ch Input(16chモデルのみ)	BNC D-SUB 15P

設置と接続

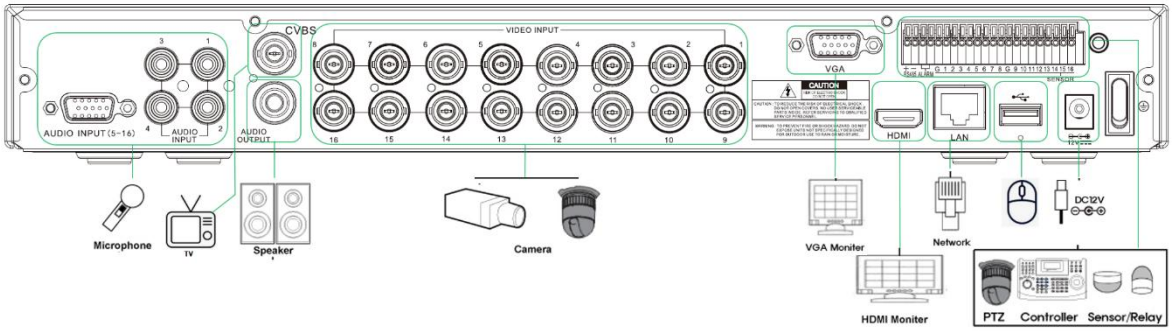
[GF TVR604]



[GF TVR608]



[GF TVR616]



電源ケーブル接続

同梱品の電源ケーブルとアダプターを接続し、機器背面パネルの電源ソケットに挿入してください。

周辺機器接続

PTZ制御線、オーディオ入力/出力、ネットワーク、センサーなどを繋げます。

NO	接続機器	DVR端子
1	スピーカー	出力端子
2	LANケーブル	背面パネルイーサネット
3	PTZカメラ制御用の線	背面パネル端子ブロック
4	センサー/リレー	背面パネル端子ブロック
5	キーボードコントローラ	背面パネル端子ブロック

※本機器はモデル別に以下のような機能差がありますので、ご注意ください。

型番	GF TVR604	GF TVR608	GF TVR616
オーディオ	4	8	16
センサー	4	8	16
リレー	1	1	1

● オーディオ I/O
入力(RCA)
出力(RCA、HDMI)

● 端子ブロック
背面パネル端子ブロックはPTZ/センサー/リレーなどを接続するための端子です。
機種によって、PTZ/センサー/リレーの数は異なります。

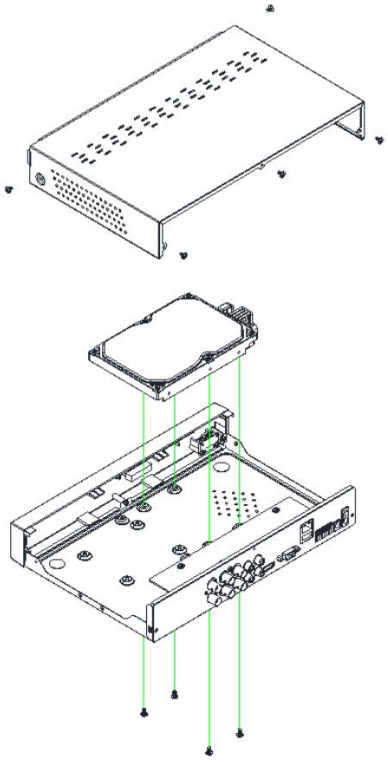
1)PTZカメラ/キーボードコントローラ
PTZカメラはPTZカメラの制御用ケーブルTRX+とTRX-とGNDをDVR背面パネルの端子ブロック(TB1)端子の4番TRXD+と5番TRXD-と10番GNDに直接接続してください。
対応するPTZカメラは、本マニュアルの「別添推奨するPTZカメラのプロトコル」をご参照ください。
※GNDが接続されていない場合はPTZカメラが正常に動作しない可能性があります。

2)センサー/リレー
センサー/リレー端子をモデルによって端子ブロックに直接接続します。
センサーとリレータイプ：NC(Normal Close) / NO(Normal Open)

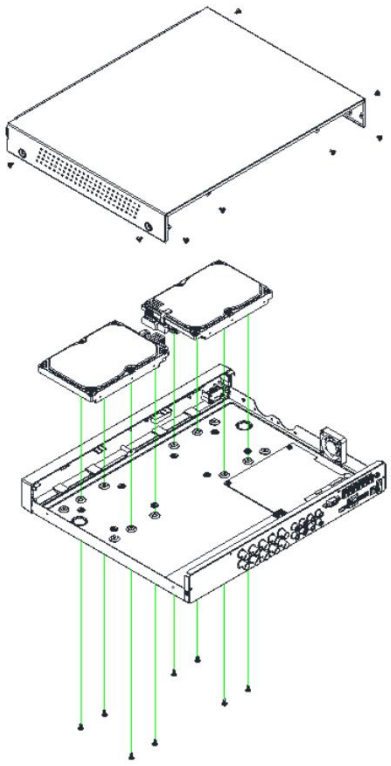
3)センサー接続
センサー端子を端子ブロックのS1~S16端子に接続します。
それぞれの入力端子は、チャンネル番号に関係なく接続できます。

4)リレー接続
警告灯、サイレンなどの外警報装置に使用します。
リレー端子を端子ブロックのALARM端子に接続します。
※外部警報装置の種類によっては外部警報装置に電力を供給しないと動作しない場合がありますのでご遠慮下さい。

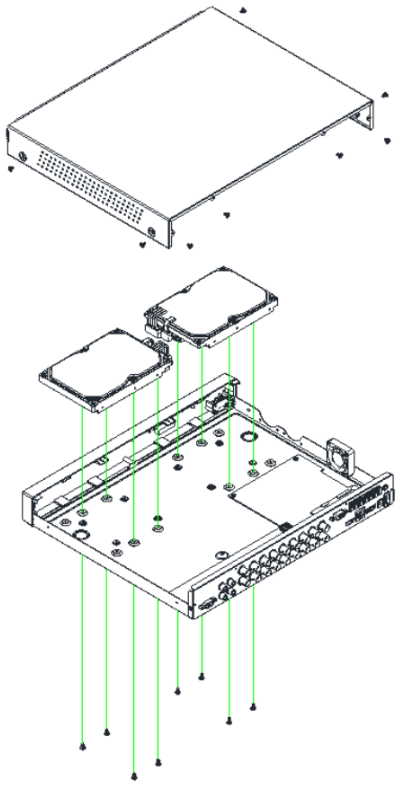
HDD設置



[GF TVR604]



[GF TVR608]



[GF TVR616]

本書及び本書に記載された製品の仕様によって発生した損害及びその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いません。本装置を破棄する時には地方自治体の条例に従って処理するようにお願い致します。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求することがあります。

機器設定

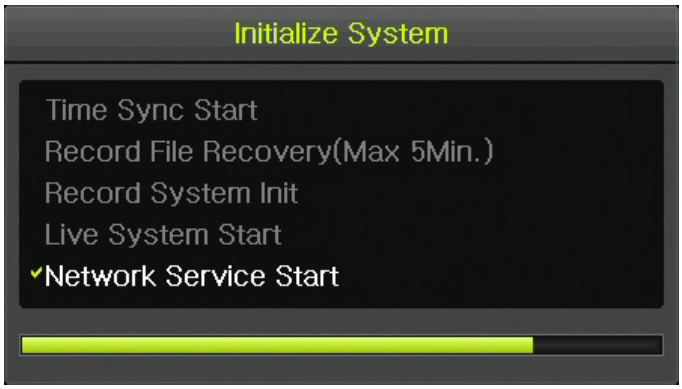
DVR動作設定

1-1 電源オン

① 電源ケーブルをコンセントにつなぎます。
② 背面パネルの電源部に挿入した後、スイッチを押して起動させます。
③ 初期画面、起動画面が表示された後、ライブ画面が表示されます。



＜初期画面＞



＜起動画面＞

④ ライブ画面上でマウスの右ボタンをクリックするとメニューが表示されます。



＜ライブ画面＞

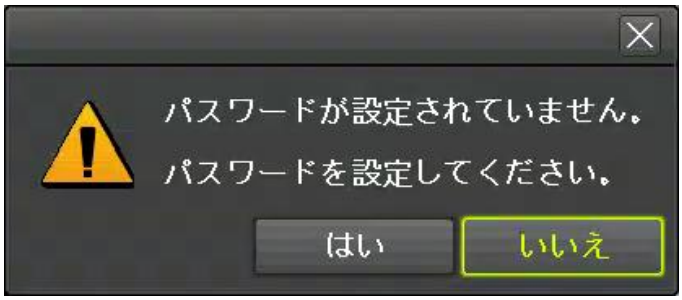


＜メニュー画面＞

⑤ メニュー画面の「ログイン」ボタンをクリックするとパスワード設定確認画面が表示されます。
⑥ 「はい」ボタンをクリックするとパスワード設定画面が表示されます。



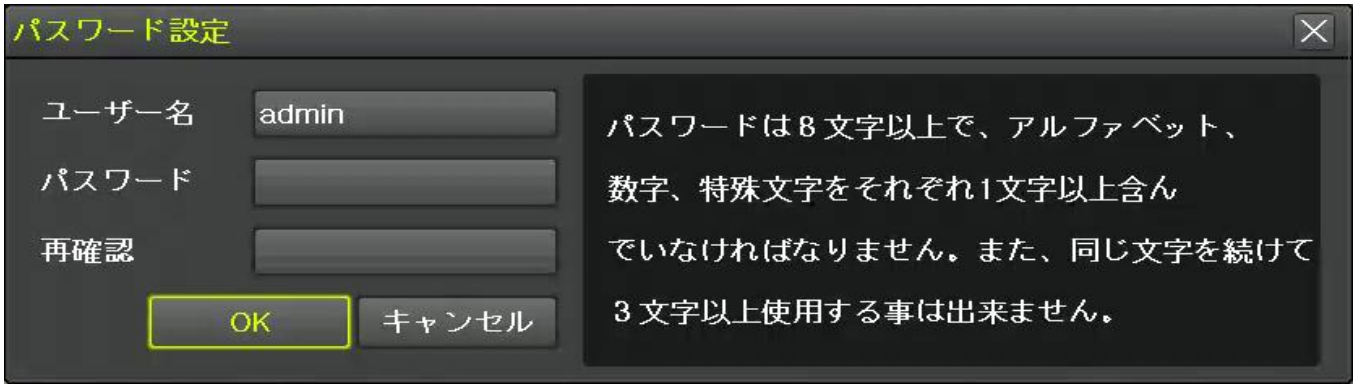
※「ログイン」以外にもパスワード未設定状態では「設定」、「検索」などログインが必要な項目からパスワード設定画面を表示することが可能です。
※ パスワード設定後にはログイン画面が表示されるようになります。



＜パスワード設定確認画面＞

DVR動作設定

⑦ パスワード設定画面でパスワード及び再確認を行ってください。



※ パスワードは8文字以上、アルファベット・数字・特殊文字を含めてください。
連続した3文字以上の文字は使用できません。 例) 123、345、abc、ABC 等

※ 設定したパスワードは以下の手順で変更できます。
「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「3.ユーザー設定」➔「ユーザー変更」➔「ユーザー選択」➔「パスワード」で変更できます。

1-2 ストレージ設定

「メニュー」➔「設定」➔「ストレージ」を選択してHDDを設定します。認識されたストレージの情報確認及び「録画用」、「バックアップ用」の設定、「フォーマット」機能を使用できます。



<ストレージ設定画面>

1-3 録画設定

「メニュー」➔「設定」➔「録画」を選択して録画を設定します。「イベント」、「録画品質」、「アラーム」、「保持時間」設定など、録画設定機能を使用できます。



<録画設定画面>

1-4 日付/時間設定

「メニュー」➔「設定」➔「時間」を選択して時間を設定します。「NTP」、「日付表示形式」、「タイムゾーン」などの設定が使用できます。



<日付/時間設定画面>

1-5 ディスプレイ設定&その他設定

「メニュー」➔「その他」➔「ディスプレイ設定」を選択してディスプレイ設定をします。
「モニター解像度」などの設定が使用できます。



<ディスプレイ設定画面>

DVR動作設定

1-6 バックアップ

「ライブ」、「検索」、「ログ」、「再生モード」でバックアップ機能を使用できます。詳しくは「2-10-5 バックアップ(共通)]をご参照ください。



＜バックアップ画面＞

1-7 DVR情報確認

「メニュー」➔「設定」➔「その他」➔「DVR情報」でDVR情報を確認できます。

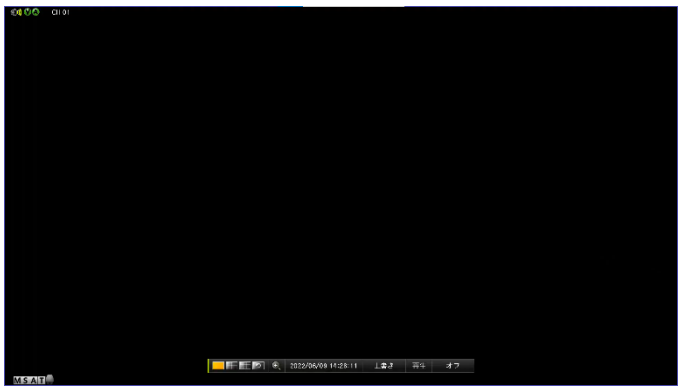


＜DVR情報画面＞

システム運用

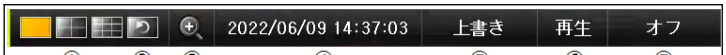
2-1 ライブモード&アイコン

「録画状態」、「チャンネル分割」、「カメラ接続状態」、「時間」、「HDD空き容量」、「再生」など情報確認及び操作が可能です。



＜ライブ画面-アイコン表示状態＞

録画イベント/録画モード表示アイコン		
録画イベント	M	モーション録画中の状態を表示
	S	センサー録画中の状態を表示
	A	音声記録中の状態を表示
	T	テキスト(文字)録画中の状態を表示
録画モード	V	画像録画中の状態を表示
	A	音声記録中の状態を表示



①	フル画面/1画面/4分割/9分割/16分割表示
②	カメラ順次切り替え
③	ズーム
④	日付/時間
⑤	HDD空き容量
⑥	再生⇔ライブ切り替え
⑦	イベントスパイダーメニュー ※有料サービス

ライブ画面アイコン	
	カメラが接続されていないCH&非表示設定CH
ビデオロス	カメラとの接続が切断された状態
	PTZカメラが接続

システム運用

2-2 システムログイン

2-2-1 ユーザー&権限設定

ユーザーはシステム管理者(admin)と一般ユーザー(user)に分類され、システム管理者(admin)は基本的に全ての機能を使用することができます。

システム管理者 (admin：デフォルト)	システム電源「オン、オフ」、設定、監視、再生など、全ての機能に対する使用権限が与えられます。
追加ユーザー(user)	各ユーザーに対して権限の設定よって、システム機能に対する使用権限が与えられます。 権限の設定は「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「ユーザー設定」で設定できます。

権限設定リスト	
ユーザー名	IDの変更 ※システム管理者(adminアカウントは変更不可)
パスワード	パスワード設定及び変更
ネットワークライブ表示	ネットワーク接続時のライブ画面を表示
再生	録画された映像を再生
バックアップ	録画データ、設定データ、ログバックアップ
設定	各種設定
PTZ	PTZカメラコントロール
リモートアップグレード	ネットワーク接続で遠隔アップグレード
リモートアクセス スケジュール	リモートでアクセス可能なスケジュール（日時）を設定 ※adminアカウントの場合、設定不可。
チャンネル使用(ユーザー)	各チャンネル別の権限設定

2-2-2 ログイン

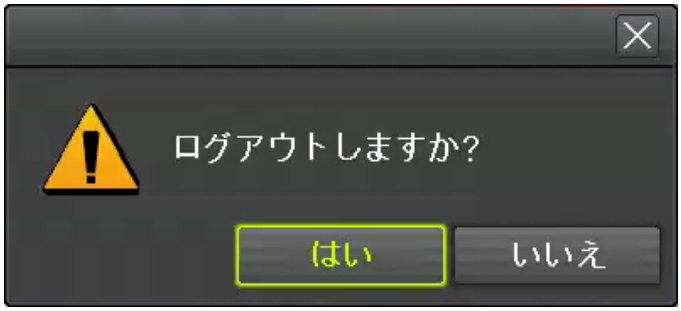
「メニュー」➔「ログイン」を選択して「ユーザー名」、「パスワード」入力してログインします。



＜ログイン画面＞

2-2-3 ログアウト

「メニュー」➔「ログアウト」を選択して「はい」を押すと、ログアウト状態になります。



＜ログアウト画面＞

2-3 その他

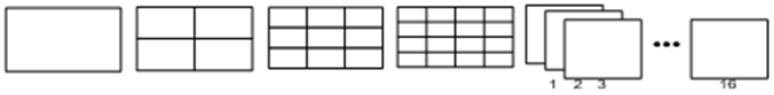
以下の表示機能を使用できます。

- 1/4/9/16分割表示&カメラ順次切り替え
- チャンネルグループ設定
- ズーム
- ライブイベント表示機能
- PTZを利用した画面コントロール機能
- 自動ログイン

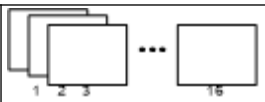
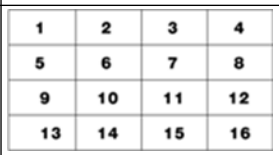
システム運用

2-3-1 分割画面&カメラ順次切り替え画面

1~16分割表示	基本モード
カメラ順次切り替えモード	特殊モード



※ 基本モード時、該当モードボタンを順次押すと以下のように画面が切り替えられます。

1画面表示 (16グループ)	
16分割表示 (1グループ)	

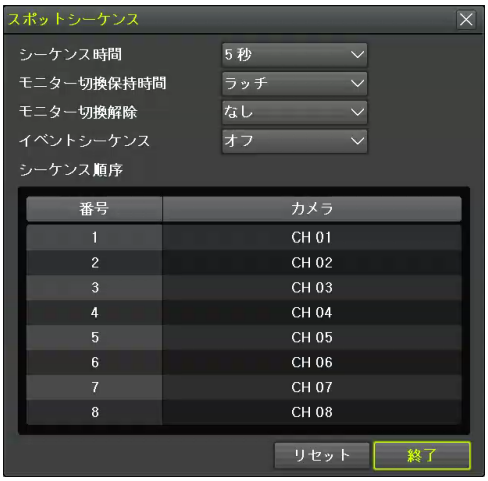
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

※ 16分割表示でフル画面表示したい映像にマウスのカーソルを移動し、ダブルクリックすると選択した画面がフル画面に変わります。
再度ダブルクリックすると前の分割画面表示にもどります。

※ カメラ順次切り替え
基本モードと特殊モードにおいて、一定間隔で映像を順次表示させる機能です。ビデオレコーダーが対応する最大チャンネル分割表示ではこの機能を使用できません。 例) 16chレコーダー ➡ 16分割表示モード

① 「メニュー」➔「その他」➔「ディスプレイ設定」➔「スポットシーケンス」を選択します。
② 「シーケンス時間」、「モニター切換保持時間」、「モニター切換解除」、「イベントシーケンス」を設定します。
③ 「カメラ(カメラ名称)」をダブルクリックし、シーケンス順序を設定します。





④ 設定変更後、「終了」を選択すると設定が反映されます。
(＊但し、カメラが1台しか接続されていない場合は設定不可)

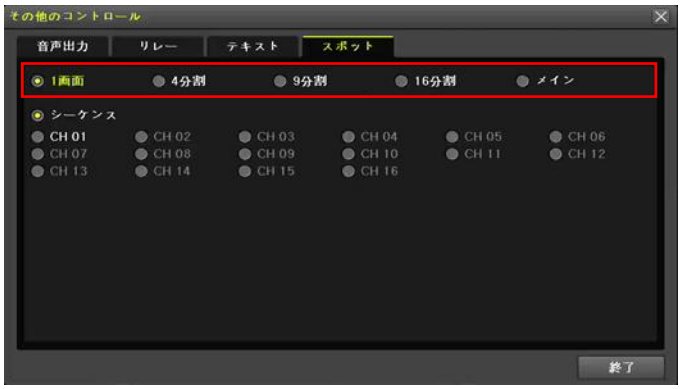
システム運用

2-3-2 スポット

スポット機能は、特定機能として設定されたチャンネルの映像を監視するためのモニターとは別の出力で表示する機能です。優先順位は「マニュアルスポット」➔「イベントスポット」➔「シーケンススポット」の順です。

① マニュアルスポット

ユーザーが任意にスポットチャンネルを設定して出力表示する機能です。
「メニュー」➔「その他」➔「その他のコントロール」➔「スポット」を選択してスポットを設定します。



＜マニュアルスポット設定画面＞

② イベントスポット

イベントが設定されたチャンネルでイベントが発生する場合、映像を表示する機能です。
「メニュー」➔「設定」➔「録画」➔「アラーム」➔「スポット」を選択して「オン、オフ」設定を行います。



＜イベントスポット設定画面＞

③ シーケンススポット

指定した分割画面状態で順次表示する機能です。「メニュー」➔「その他」➔「その他のコントロール」➔「スポット」➔「シーケンス」を選択してシーケンスを設定します。＊機種によって異なります。



＜分割&メイン選択時の画面＞

2-3-3 ズーム

デジタルズーム機能は特定チャンネルをフル画面モードに表示して映像を「拡大、縮小」する機能です。

① 「メニュー」➔「ズーム」もしくはコントロールバーの虫眼鏡( )アイコンを選択し、チャンネルを選びます。





② チャンネルを選択するとフル画面に切り替えられ、右下にコントロール映像が表示されます。
③ マウスカーソルを利用して、右下のコントロール映像をクリックすると画面フォーカスを移動させることができます。
④ コントロール映像をダブルクリックすると「x1、x2、x4、x16」の4段階で拡大することができます。
⑤ ズームモードはコントロールバーの「ESC(ESC)を選択すると終了され、以前の画面に戻ります。

システム運用

2-3-4 PTZを利用した画面コントロール機能

接続されたPTZカメラをコントロールする機能です。
＊PTZカメラがシステムに接続されていない場合にはこの機能は使用できません。
「メニュー」➔「設定」➔「カメラ」➔「PTZ」を選択してPTZを設定します。
①PTZ設定画面で「プロトコル、カメラID、ボーレート、アドレス、停止時間、ツアー」を設定します。



カメラ	プロトコル	カメラID	ボーレート	アドレス	停止時間	ツアー
CH 01	COAX_PTZ	1	9600	0	5 秒	オフ
CH 02	COAX_PTZ	2	9600	0	5 秒	オフ
CH 03	COAX_PTZ	3	9600	0	5 秒	オフ
CH 04	COAX_PTZ	4	9600	0	5 秒	オフ
CH 05	COAX_PTZ	5	9600	0	5 秒	オフ
CH 06	COAX_PTZ	6	9600	0	5 秒	オフ
CH 07	COAX_PTZ	7	9600	0	5 秒	オフ
CH 08	COAX_PTZ	8	9600	0	5 秒	オフ

＜PTZ設定画面＞

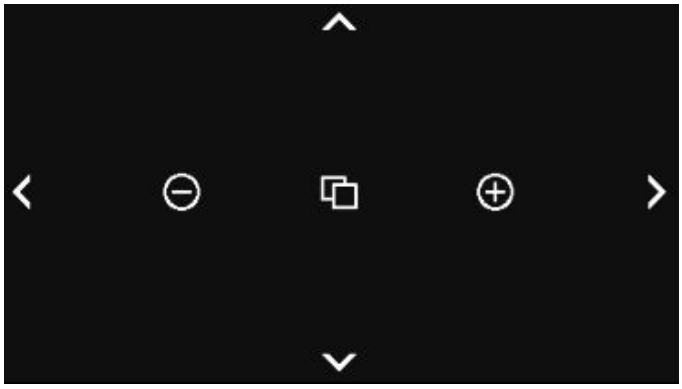
※ ボーレートは「2400/4800/9600/19200/38400」から設定できます。
※ 停止時間は「5秒、10秒、15秒、20秒、ユーザー設定(5-60)」から設定できます。
※ ツアーは「ツアー1、ツアー2」のいずれかを指定し、それぞれ「8個」までのプリセット設定ができます。
※ PTZに対応するIPカメラはプロトコルが自動的にIPカメラに設定されています。(※IPカメラ対応モデル)

※対応するプロトコルは「別添　推奨するPTZカメラのプロトコル」をご参照ください。

②「メニュー」➔「PTZ」を選択してPTZ制御をします。



＜PTZメニュー画面＞



＜PTZコントロール＞



＜PTZコントロール＞

PTZでは最小と最大2つの機能を使用できます。速度はカメラメーカーの最大設定値によって差があります。ツアーは「ツアー1、ツアー2」を選択できます。プリセットは1-255まで設定ができて、ホーム復帰時間は「1分、5分、10分、ユーザー設定(1-60)から設定できます。

プリセットとは？
PTZカメラで「左右、上下、ズーム、焦点」など特定ポイントを座標として記憶させて置くことで手動でPTZカメラを操作せず、設定したポイントに移動できる機能です。

ホームポジション復帰時間とは？
PTZを制御して一定時間の間、何の操作も行われない場合に自動的にPTZのプリセット1番が選択される機能です。ホームポジション復帰機能の代わりにプリセット「1番」ボタンを使用することも可能です。

システム運用

2-4 画面設定変更

2-4-1 ディスプレイ設定

「メニュー」➔「その他」➔「ディスプレイ設定」でディスプレイ設定の機能が使用できます。
カメラ名称、コントロールバー、ボタン音、HD周波数、モニター解像度、境界線、スクリーンセーバー、スポットシーケンス、メインシーケンスの設定が使用できます。



<ディスプレイ設定画面>

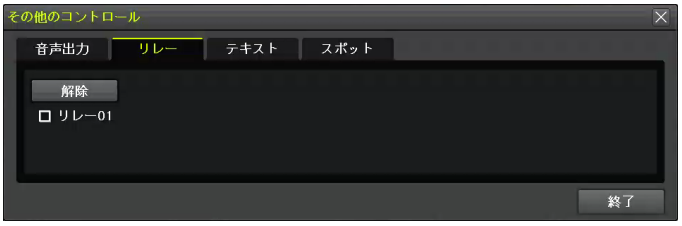
カメラ名称	ライブ画面のカメラ名称「オン、オフ」
コントロールバー	ライブ画面のコントロールバー「オン、オフ」
ボタンオン	ボタン音「オン、オフ」
HD周波数	HD周波数設定「1080p60、1080p50」
モニター解像度	モニター解像度設定 「UHD、QHD、FHD、SXGA、XGA」
境界線	境界線「オン、オフ」
幅、色	「幅、色」の設定
スポットシーケンス	「2-3-2 スポット」を参照
メインシーケンス	メインシーケンスを設定

2-5 制御

「メニュー」➔「その他」➔「その他のコントロール」で各種制御機能が使用できます。
このタブでは「音声出力、リレー、テキスト、スポット」の機能を使用できます。



<音声出力画面>



<リレー画面>



<テキスト画面>



<スポット画面>

システム運用

2-6 検索

2-6-1 検索モード

「メニュー」➔「検索」で各種検索メニューを選択できます。



＜再生モード画面＞



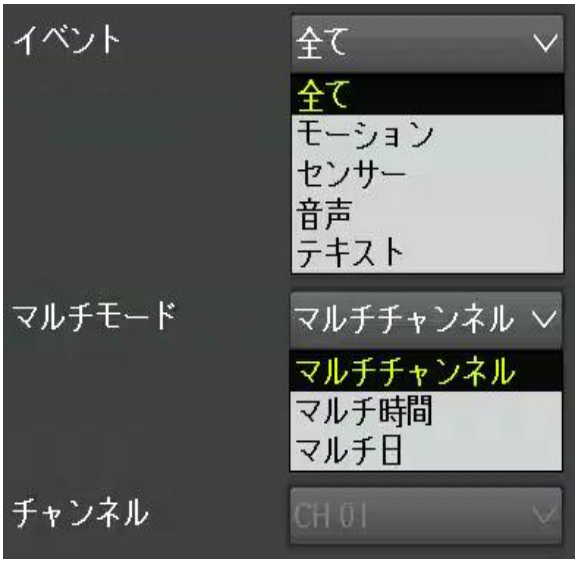
＜検索メニュー画面＞

2-6-2 カレンダー検索

「メニュー」➔「検索」➔「カレンダー検索」を選択します。
ユーザーは「日付、時間、マルチモード、イベント」を指定して検索や再生機能を使用できます。



＜カレンダー検索画面＞

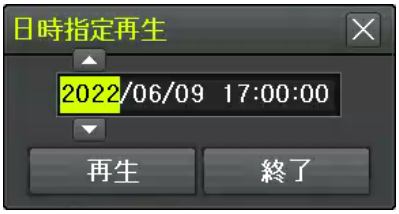


＜検索オプション項目＞

イベント	「全て、モーション、センサー、音声、テキスト」を選択してイベントごとに検索する機能
マルチモード	マルチチャンネル：特定の時間に対して異なるチャンネルの録画映像を同時に再生する機能
	マルチ時間：特定のチャンネルに対して異なる時間帯の録画映像を同時に再生する機能
	マルチ日：特定のチャンネルに対して異なる日の録画映像を同時に再生する機能
チャンネル	マルチモードではマルチ時間/マルチ日を選択時に特定のチャンネルを選択することが可能

2-6-3 日時指定再生

「メニュー」➔「検索」➔「日時指定再生」を選択します。「年、月、日、時、分、秒」をクリックすると「上、下」矢印が表示され、日時選択ができます。



＜日時指定再生画面＞

2-6-4 最後から再生

「最後から再生」モードでは、最近(現在基準の約5分前)に録画された映像を再生します。

2-6-5 最初から再生

「最初から再生」モードでは、ストレージ(HDD)に最初に録画された映像を再生します。

2-6-6 前回の続きから再生

「前回の続きから再生」モードでは、前回再生した映像の続きから再生します。

システム運用

2-7 再生

ストレージ(HDD)に録画されている映像を次の8つの方法で再生することができます。

カレンダー検索で再生	「メニュー」➔「検索」➔「カレンダー検索」で入力項目を設定後、「再生」を選択する
日時指定再生	「メニュー」➔「検索」➔「日時指定再生」で日時を設定後、「再生」を選択する
最後から検索での再生	「メニュー」➔「検索」➔「最後から」を選択する
最初から検索での再生	「メニュー」➔「検索」➔「最初から」を選択する
前回の続きから検索での再生	「メニュー」➔「検索」➔「前回の続きから」を選択する
POS検索での再生	「メニュー」➔「検索」➔「POS検索」で入力項目を設定後、「再生」を選択する
ログ検索での再生	「メニュー」➔「その他」➔「ログビューアー」でログを検索し、ログリストを選択してから「再生」を選択、又はログリストをダブルクリックするとログが記録された時間帯で再生する
コントロールバーでの再生	コントロールバー「再生」を選択する。 ※ 現時刻から約5分前の映像を再生する

2-7-1 再生と再生速度調整

① 再生モードでは、各ボタンの機能に応じて映像を再生します。
② 最後の録画データまで再生した場合、次の時間の録画データを自動的に検索して再生します。
(マルチチャンネル再生機能のみ可能であり、再生、逆再生の両方が可能です。)
③ 再生モードでのボタン説明は下記の表をご参照ください。



＜再生時のコントロールバー＞

再生モードのボタン機能説明		
	チャンネルモード変更	チャンネルモードを変更
	ズームモード	ズームモードに変更
	再生/速度調整	ボタン1回クリック - 再生速度(x1) ボタン1回クリック - 再生速度(x2) ボタン1回クリック - 再生速度(x4) ボタン1回クリック - 再生速度(x8) ボタン1回クリック - 再生速度(x16) ボタン1回クリック - 再生速度(x32) ボタン1回クリック - 再生速度(x300) ※(x300)状態でもう一度クリックすると(x1)の速度に戻ります。
	フレーム単位再生	1フレームずつ再生、映像を一時停止
	止め	映像を一時停止
	フレーム単位逆再生	1フレームずつ逆再生、映像を一時停止
	逆再生/速度調整	ボタン1回クリック - 逆再生速度(x1) ボタン1回クリック - 逆再生速度(x2) ボタン1回クリック - 逆再生速度(x4) ボタン1回クリック - 逆再生速度(x8) ボタン1回クリック - 逆再生速度(x16) ボタン1回クリック - 逆再生速度(x32) ボタン1回クリック - 逆再生速度(x300) ※(x300)状態でもう一度クリックすると(x1)の速度に戻ります。
	ライブ	再生モードを終了して、ライブモードに移動
		ステータスバー時間単位の映像保存データ情報と倍速情報を表示

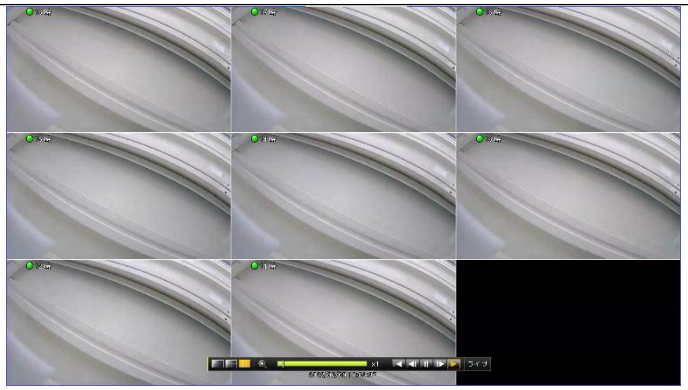
システム運用

2-7-2 カレンダー検索

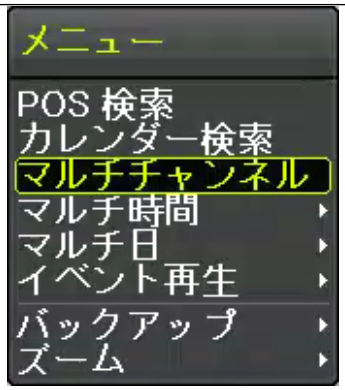
「日付、時間、マルチモード、イベント」を指定して再生する機能です。
ライブモードで「メニュー」➔「検索」➔「カレンダー検索」もしくは再生モードで「マウス右クリック」➔「メニュー」➔「カレンダー検索」を選択します。 ※詳しい内容は「2-6-2 カレンダー検索」をご参照ください。

2-7-3 マルチ時間

特定チャンネルに対して異なる時間帯の録画映像を同時に再生する機能です。並び順は降順(新しい順)です。
再生モードで「マウス右クリック」➔「メニュー」➔「マルチ時間」➔「チャンネル」を選択します。
※通常再生モードに戻る場合には、「マウス右クリック」➔「メニュー」➔「マルチチャンネル」を選択してください。



<再生モード - マルチ時間>



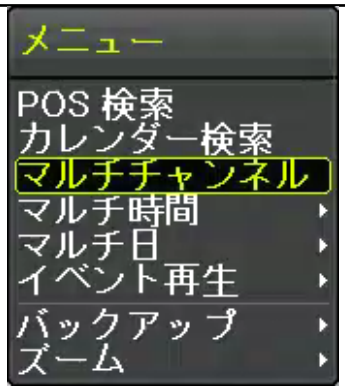
<再生モードメニュー>

2-7-4 マルチ日

特定チャンネルに対して異なる日付の録画映像を同時に再生する機能です。並び順は降順(新しい順)です。
再生モードで「マウス右クリック」➔「メニュー」➔「マルチ日」➔「チャンネル」を選択します。
※通常再生モードに戻る場合には、「マウス右クリック」➔「メニュー」➔「マルチチャンネル」を選択してください。



<再生モード - マルチ日>



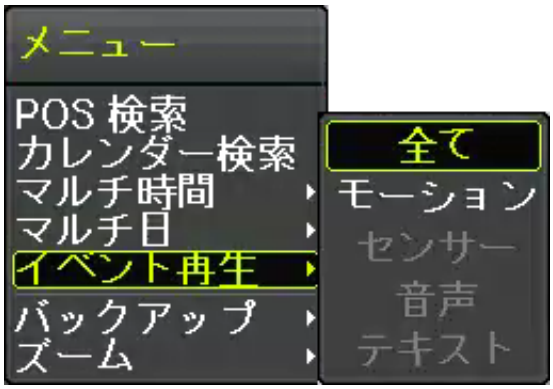
<再生モードメニュー>

2-7-5 イベント再生

録画データで特定のイベント「全て、モーション、センサー、音声、テキスト」を検索して再生する機能です。
再生モードで「マウス右クリック」➔「メニュー」➔「イベント再生」➔「イベント」を選択します。
※検知されたイベントをコントロールバーに表示します。(*時間単位)



<再生モード – イベント再生>



<イベント再生メニュー>

システム運用

2-7-6 バックアップ

USBメモリーなどのストレージデバイスを挿入した後、再生モードで「マウス右クリック」➔「メニュー」➔「バックアップ」➔「バックアップ」もしくは「スナップショット」を選択します。

・ バックアップ：保存された映像データを外部記憶装置に保存します。
・ スナップショット：現在再生または停止状態の画面をキャップチャーして保存します。
※詳しい内容は「2-10-5 バックアップ(共通)]をご参照ください。

2-7-7 ズーム

選択したチャンネルを「拡大、縮小」する機能です。再生モードで「マウス右クリック」➔「メニュー」➔「ズーム」➔「チャンネル」を選択します。 ※詳しい内容は「2-3-3 ズーム」をご参照ください。

2-8 ログビューアー

DVRシステムの電源「オン、オフ」、システム設定、ネットワーク「接続、解除」など、システム動作ログ情報を検索します。「全て、エラー、通信、録画、ノーマル」5種類に分けて検索できます。
「メニュー」➔「その他」➔「ログビューアー」を選択します。※ログは「日単位」のみ検索が可能です。



<ログビューアー画面>



<ログ保存画面>

ログビューアー各機能の説明及びログタイプ	
ログ検索	カレンダーに「緑色の◤」が表示されている部分が検索対象になります。 検索対象の日付をダブルクリックします。
詳細情報	ログの詳細情報「ページ、日時、イベント内容、使用者」などの情報が表示されます。
移動	ログ検索後、ログビューア画面を「右クリック」するとメニューが表示されます。 時間を設定すると選択した時間帯のログに移動します。 
ログ削除	削除する日付を選択してから「ログ削除」を選択します。 ※ログを検索している状態では削除できません。選択した日付のログを全て削除しますので、ご注意ください。
ログ保存	ログデータをUSBメモリーなどに保存する機能です。保存するログを検索した後、「ログ保存」を選択します。 ※「タイムインデックス」欄でも日付変更できます。
再生	ログが発生した時点の映像を再生します。リストからログを選んで「再生」を選択します。
終了	ログビューアー画面を閉じます。
全て	全てのイベントログを検索します。
エラー	ビデオロス、ネットワーク接続失敗など、システム動作異常に関するログを表示します。
通信	ネットワーク「ログイン、ログアウト」、ネットワークライブなどネットワークに関するログを表示します。
録画	「モーション、センサー検知」など録画イベントに関するログを表示します。
ノーマル	電源「オン、オフ」、バックアップ、設定変更、再生など基本動作に関するログを表示します。

システム運用

2-9 録画

2-9-1 録画方式

以下の表のように録画方式を選択できます。

録画方式	説明
連続	設定されたフレーム数に応じて、常に録画する
モーション	映像のモーションイベントが検出された場合、録画する
センサー	外部センサーから入力信号が発生した場合、録画する
音声	映像に音声イベントが検出された場合、録画する

2-10 バックアップ

USB2.0メモリー、外付けHDD、CD、DVDなどのストレージデバイスがUSB2.0ポートに接続されていなければなりません。バックアップは「ライブモード、検索モード、ログ、再生モード」で実行できます。

※ NTFSファイルシステムのUSBを使用する場合、Windowsで「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」をした後にDVR装置で使用してください。
上記の手順を利用しない場合はUSBメモリーの破損の恐れがあります。

2-10-1 ライブビューモードでのバックアップ

① 「メニュー」➔「バックアップ」➔「バックアップ」でバックアップ機能が使用できます。
② バックアップの開始時間は5分前の時間に設定されています。
③ バックアップするチャンネルは指定時間にデータが存在する全てのチャンネルまたは分割表示に応じてチャンネルのみを選択することもできます。
④ 以降のバックアッププロセスは「2-10-5 バックアップ(共通)」をご参照ください。



＜バックアップメニュー画面＞



＜バックアップ画面＞

システム運用

2-10-2 検索モードでのバックアップ

① 「メニュー」➔「検索」➔「カレンダー検索」を選択します。
② 開始時間は検索モードで選択された「年、月、日、時、分」に設定されます。
終了時間は選択した時間に記録されたデータの最後の「分/秒」まで設定されます。
③ バックアップするチャンネルはバックアップする時間に記録されたデータ全てのチャンネルが選択されます。
④ 以降のバックアッププロセスは「2-10-5 バックアップ(共通)」をご参照ください。



＜カレンダー検索メニュー画面＞



＜バックアップ画面＞

2-10-3 ログビューアーでのバックアップ

① 「メニュー」➔「その他」➔「ログビューアー」を選択します。
② 「日付選択」➔「ログリスト選択」➔「再生」を選択します。
③ 画面が再生モードに切り替わり、バックアップメニューを選択出来るようになります。
④ 再生モードで「右クリック」➔「メニュー」➔「バックアップ」➔「バックアップ」を選択します。
※ 詳細内容は「2-10-4 再生モードでのバックアップ」をご参照ください。
⑤ 開始時間は選択したログが発生した時間から5分前の時間に設定されます。
終了時間は選択したログが発生した時間に設定されます。
⑥ バックアップするチャンネルはバックアップする時間に記録されたデータ全てのチャンネルが選択されます。
特定のチャンネルに対して発生したログであれば、そのチャンネルのみ選択されます。
⑦ 以降のプロセスは「2-10-5 バックアップ(共通)」をご参照ください。



＜ログビューアーメニュー画面＞



＜ログビューアー画面＞

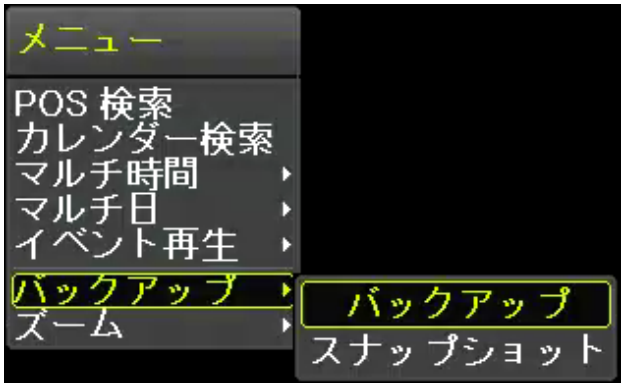
システム運用

2-10-4 再生モードでのバックアップ

① 再生モードで「右クリック」➔「メニュー」➔「バックアップ」➔「バックアップ」を選択します。
※ 再生モードを表示させる方法は「2-7 再生」をご参照ください。
② 開始時間はバックアップを選択した時間の5分前に設定されます。
終了時間はバックアップを選択した時間に設定されます。
③ バックアップするチャンネルはバックアップする時間に記録されたデータ全てのチャンネルが選択されます。
分割表示に応じて閲覧中のチャンネルのみ選択することも可能です。
④ 以降のバックアッププロセスは「2-10-5 バックアップ(共通)」をご参照ください。



＜再生モードでのメニュー画面＞



＜再生モードでのバックアップメニュー画面＞

2-10-5 バックアップ(共通)

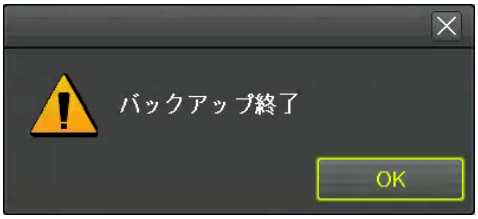
① バックアップするためのデバイスを装置のUSBポートに挿入します。
② デバイスが認識されるとデバイスを選択します。
③ バックアップする録画データの「開始時間、終了時間(年、月、日、時、分、秒)」を設定します。
④ フォルダー名はユーザー任意で変更可能です。 ※初期値に関して以下の表をご参照ください。
⑤ バックアップするチャンネルを選択して「開始」を選択するとバックアップが開始されます。



＜バックアップ画面＞

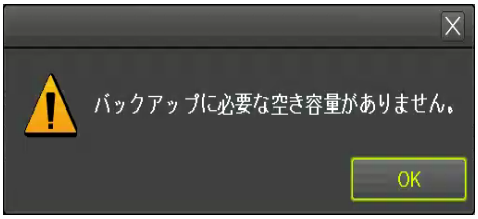
バックアップ説明及	
デバイス	装置に接続されているデバイスリスト及びデバイス情報
空き容量	選択されたデバイスの空き容量
合計容量	選択されたデバイスの合計容量
データ量	バックアップするデータの量(自動的に計算されます。)
ファイル形式	バックアップするデータの保存形式「AVI、RMS」
フォルダー名	20220610092544_20220610093044_02 ① ② ③ ① バックアップ開始時間「年、月、日、時、分、秒」 ② バックアップ終了時間「年、月、日、時、分、秒」 ③ バックアップするデバイス内のフォルダー数に応じて作成 ※ フォルダー名はユーザー任意で変更可能
タイムインデックス	バックアップするデータの「開始時間、終了時間」を設定
チャンネル	バックアップするチャンネルを選択
進行状況	バックアップ開始時に進行状況を「%」で表示

※バックアップが正常に終了された場合の表示



＜バックアップ完了画面＞

※デバイスの空き容量が無い場合の表示



＜バックアップ失敗画面＞

システム運用

2-11 設定データ保存及びアップグレード

現在、装置に設定されている全ての設定値を保存する機能です。
この機能を使用して装置の設定値をそのまま他の機器に設定することができます。

① 設定データを保存するためのデバイスを装置のUSBポートに挿入します
② 「メニュー」➔「バックアップ」➔「設定データ保存」を選択します。
③ デバイス情報画面が表示されます。
④ デバイスを選択するとそのまま「開始、終了」されます。

デバイスに下記のようなファイル名で設定データが保存されます。
H6E04_V1.3.003_20160414_172843.bin
① ② ③ ④
「①モデル名、②バージョン、③日付、④時間」



＜設定データ保存メニュー画面＞



＜デバイス情報画面＞

⑤ 「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「アップグレード」➔「設定データ」を選択します。
⑥ 設定データを選択すると「設定データアップグレード」画面が表示されます。
⑦ 該当するファイル名を選択するとアップグレード実行されます。

ファイル名を選択するとそのままアップグレードが実行されますので、ご注意ください。



＜設定データアップグレードメニュー画面＞



＜設定データアップグレード画面＞

システム運用

2-12 ログ保存

機器に保存されたログを保存する機能です。

① ログデータを保存するためのデバイスを装置のUSBポートに挿入します。
② 「メニュー」➔「バックアップ」➔「ログ保存」を選択します。
③ 保存するログの「開始日付、終了日付」を設定します。 ※ ログデータは日単位で保存可
④ フォルダー名はユーザー任意で変更可能です。 ※初期値に関して以下の表をご参照ください。
⑤ 保存するログのタイプを選択して「開始」を選択すると保存が開始されます。



<ログ保存画面>

バックアップ説明及	
デバイス	装置に接続されているデバイスリスト及びデバイス情報
空き容量	選択されたデバイスの空き容量
合計容量	選択されたデバイスの合計容量
データ量	保存するログデータの量(自動的に計算されます。)
フォルダー名	20220610_20220610_05_LOG ① ② ③ ① 保存データの開始日「年、月、日」 ② 保存データの終了日「年、月、日」 ③ 保存するデバイス内のフォルダー数に応じて作成 ※ フォルダー名はユーザー任意で変更可能
タイムインデックス	保存するログデータの「開始日、終了日」を設定
イベント	イベントタイプ
進行状況	バックアップ開始時に進行状況を「%」で表示

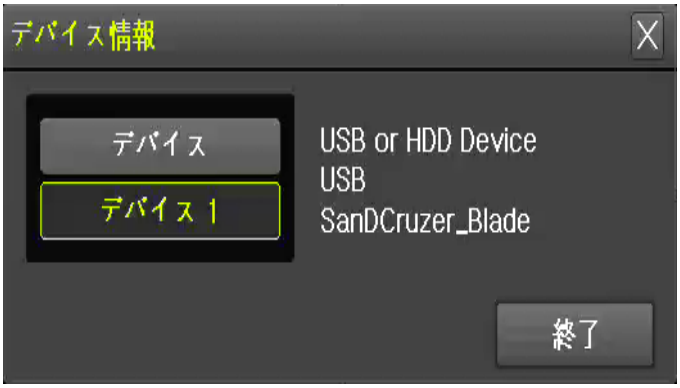
2-13 スナップショット

スナップショットは「ライブモード、再生モード、検索モード、ログエントリーモード」で停止された映像をJPGファイルに変換し、バックアップデバイスに保存する機能です。

① スナップショットを保存するためのデバイスを装置のUSBポートに挿入します。
② 「メニュー」➔「バックアップ」➔「スナップショット」を選択します。
③ デバイス情報画面が表示されます。
④ デバイスを選択するとそのまま「開始、終了」されます。



<スナップショットメニュー画面>



<デバイス情報画面>

システム運用

2-14 QRコード(ネットワーク情報)

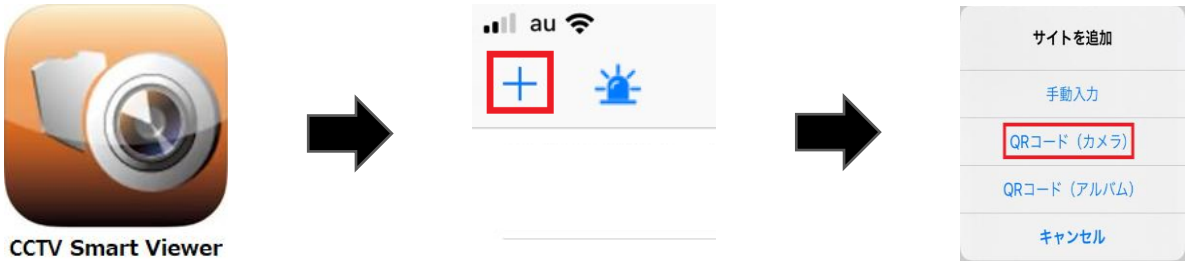
QRコードをモバイル機器でスキャンしてDVRに接続することができる機能です。
QRコードをスキャンすると自動的にレコーダーの情報が入力されます。
(※セキュリティのためにパスワードは別途入力が必要。)

① 「メニュー」➔「その他」➔「QRコード(ネットワーク情報)」を選択します。





② モバイル機器のCCTV Smart Viewerを開きます。



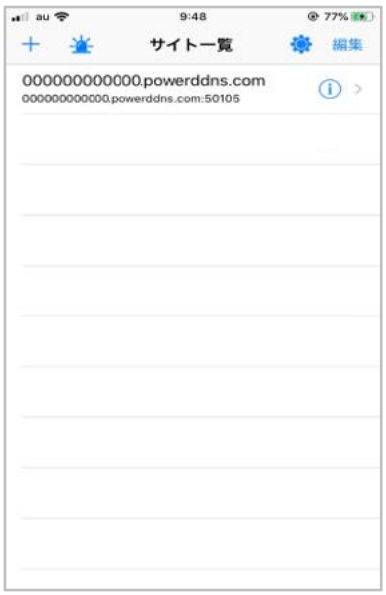
③ 「CCTV Smart Viewer」➔「サイトを追加(＋)」➔「QRコード(カメラ)」を選択します。
④ カメラでDVRから表示させたQRコードをスキャンします。
⑤ 「DDNS、外部IP、内部IP」3種類が表示されますので、いずれか1種類を選択してください。
⑥ 情報入力画面に移動すると「サイト名、IP/ホスト、ポート、ユーザー名」が自動的に入力されます。 ※ 「QRコード」のみ自動的にDVR情報が入力されます。
⑦ DVRのパスワードを入力します。 ※ セキュリティ保護の為、パスワード自動入力されません。



<IP/ホスト選択画面>



<DVR情報入力画面>



<サイト一覧画面>

設定

3-1 時間

※機能説明

1. 時間同期

1) NTPサーバーとの同期化
1日「1回、2回、3回、4回、6回、24回」の周期でNTPサーバーと同期化します。

1-1) 自動設定
ユーザーが設定した地域(Zone)を基準に最も近いサーバーに接続し、接続が不可能な場合は次のリストに移動して再接続を行います。

1-2) ユーザー設定
ユーザーが直接NTPサーバーのURLまたはIPを設定し接続できなかった場合にはすぐにユーザーにメッセージを送信し、ログを記録します。NTPサーバーとの同期化が失敗した場合にはRTCと同期します。

2) タイムサーバーとの同期
1日「1回、2回、3回、4回、6回、24回」の周期でNTPと時刻を同期します。NTPは時間の変更、地域(Zone)を変更する場合などは同じネットワークの中で結ばれたDVR間で同期が行われます。
[同期信号はブロードキャスト(Broadcast)にパケットを送り、ルーターあるいはゲートウェイは通過しません。DVRタイムサーバーでは自動接続はありません。

2. サマータイム設定

NTPは設定された時間によって自動的に処理されます。

3. ユーザー時間設定

ユーザーが直接時間を設定します。NTPで設定するとユーザー時間設定は不可能になります。

※ 時間機能の設定は「メニュー」➔「設定」➔「時間」で設定することが出来ます。



＜設定メニュー画面＞



＜時間設定画面＞

3-1-1 時刻同期

タイムサーバー、サーバー形態、サーバーのURL機能を設定できます。
「メニュー」➔「設定」➔「時間」➔「時刻同期」を選択します。

時刻同期	オフ	タイムサーバーを使用していません。
	NTP	NTPを使用してDVRの時間を設定します。

[時刻同期]がNTPになっている場合、[NTP]の設定が可能です。
サーバータイプが[NTP]の場合は自動であり、ユーザー設定の時はIPまたはURL設定が使用できます。

3-1-2 日時

日時設定、日付表示の形式を設定できます。
「メニュー」➔「設定」➔「時間」➔「日時」を選択します。

日時	システムの日付と時間は「年、月、日、時、分、秒」で構成されています。 「年、月、日、時、分、秒」をダブルクリックすると矢印が表示され変更できます。 ※ 手動変更は時間同期(NTP)がオフになっている状態のみ変更できます。
日付表示形式	「日、月、年」、「月、日、年」、「年、月、日」

設定

3-1-3 タイムゾーン

タイムゾーン、サマータイムの設定ができます。
「メニュー」➔「設定」➔「時間」➔「タイムゾーン」を選択します。

タイムゾーン	日本地域(東京、大阪、札幌)、以外96地域
サマータイム	サマータイム機能を「オン、オフ」します。 「開始時間、終了時間」を設定してください。 ※「開始時間」、「終了時間」を週単位で設定するためには日を「メイン」に設定する必要があります。 ※ サマータイム適用後は検索及びログリストから既存のDataは」"OLD_」で表現されます。 ※ 日本国内では本機能は使用されませんでの「オフ」状態を推奨します。

3-1-4 自動再起動

自動再起動はシステムを自動で再起動をする機能です。
自動再起動を定期的に実行することでシステムを安定的に運用することができます。
「メニュー」➔「設定」➔「時間」➔「自動再起動」で時間(定刻単位で設定可)設定が可能です。
設定した時刻で「毎日、毎週月曜日~毎週日曜日」曜日単位で再起動周期を設定できます。

3-2 カメラ

カメラの各種設定「カメラ、PTZ、イベント、リレー」ができます。
「メニュー」➔「設定」➔「カメラ」で設定できます。



＜設定メニュー画面＞



＜カメラ設定画面＞

3-2-1 カメラ

カメラ設定機能の説明		
カメラ	チャンネル番号	
接続	各カメラの接続「オン、オフ」を設定 ※ 実際にカメラが接続中であっても「オフ」に設定されている場合は映像は見えません。	
名称	OSDに表示される各カメラの名称を変更できます。 ※ 全角・半角50文字、数字50桁まで入力可能です。	
PZマスク (プライバシー保護)	ライブモードチャンネルで映像の特定部分を監視者に見えないようにする機能です。 「PZマスク」を選択するとフル画面モードに切り替わり、映像を映したくない領域を設定することができます。 最大「４つ(赤色、オレンジ色、黄色、緑色)」の領域で設定することができます。(※ 32 x 24)	
タイプ	カメラ入力タイプを設定できます。機器モデルに基づいてサポート可能な入力タイプが存在します。 但し、「IPカメラ、EX-SDI 1HDD Bayの製品はカメラ入力タイプ設定機能をサポートしていません。	
	タイプ種類	「自動、T-4K15、A-4K15、T-5MP20、A-5MP20、A-5MP12、T-4MP、T-4MP15、A-4MP、A-4MP15、T-3MP18、A-3MP、A-3MP18、T-1080、A-1080、C-1080、T-720、A-720、C-720、960H」※初期値は「自動」
調整	チャンネル毎に「明るさ、コントラスト、色合い、彩度、シャープネス」調整ができる機能です。	

設定

3-2-2 PTZ

PTZカメラのプロトコル、伝送速度などを設定できます。
「メニュー」➔「設定」➔「カメラ」➔「PTZ」を選択します。



＜設定メニュー画面＞



＜PTZ設定画面＞

PTZ設定機能の説明	
カメラ	チャンネル番号
プロトコル	カメラのプロトコルを設定できます。 プロトコルに関しましては「別添　推奨するPTZカメラのプロトコル」をご参照ください。
カメラID	カメラのIDを設定できます。
ボーレート	ボーレートは「2400、4800、9600、19200、38400」の中から選択できます。
アドレス	アドレスを設定できます。選択して手動で入力してください。
停止	停止時間は「5秒、10秒、15秒、20秒、ユーザー設定(5-60秒)」の中から選択できます。
ツアー	ツアーは「ツアー1、ツアー2」のいずれかを選択し、それぞれ8つのプリセットの設定ができます。

3-2-3 PTZ Coax制御

接続されたカメラのOSD設定を変更する機能です。
「メニュー」➔「設定」➔「カメラ」➔「PTZ」を選択します。
プロトコルを「COAX_PTZ」➔「PELCO-C」に変更した後、「メニュー」➔「PTZ」を選択します。
PTZ操作画面で「右クリック」をすると「PTZ操作コントローラー」が表示されます。
コントローラーで「焦点-遠」または「絞り-開」を選択すると画面にOSDメニューが表示されます。
※ プロトコルの初期値は「COAX_PTZ → PELCO-C」



＜プロトコル設定画面＞

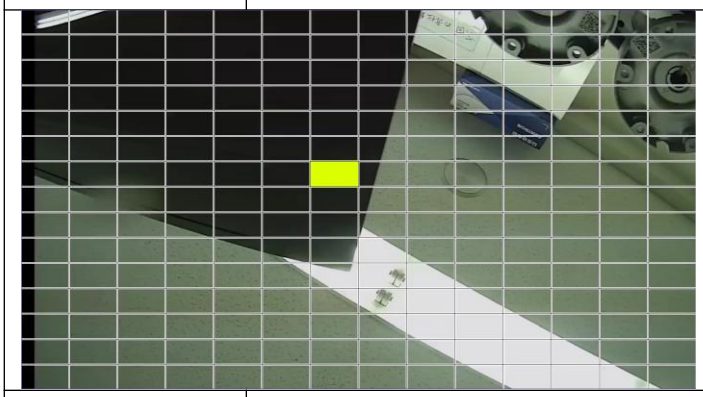


＜PTZコントローラー画面＞

3-2-4 イベント

「モーションエリア、モーション感度、音声感度、センサータイプ」の設定ができます。
「メニュー」➔「設定」➔「カメラ」➔「イベント」を選択します。

イベント機能の説明	
モーションエリア	① 変更するチャンネルのモーションエリアをダブルクリックします。 ② フル画面表示モードに切り替わり、「14×15」ピクセル画面で表示されます。 ③ 黄緑色のピクセルをマウスドラックでモーションエリア設定できます。 ※ 設定前：黒い線、設定後：白い線 ※ 初期値は「14×15」全ての領域が選択されている状態です。





モーション感度	「最低、低、中、高、最高」の中から設定できます。
音声感度	「最低、低、中、高、最高」の中から設定できます。
センサータイプ	センサータイプの設定ができます。(NO、NC)

3-2-5 リレー

リレーのタイプを設定できます。（NO、NC）
「メニュー」➔「設定」➔「カメラ」➔「リレー」を選択します。

3-3 録画

録画とシステム環境の主な機能を設定できます。
「メニュー」➔「設定」➔「録画」を選択します。



＜設定メニュー画面＞



＜録画設定画面＞

3-3-1 録画設定(スケジュール1~スケジュール4)

各チャンネルに4つのスケジュールを設定できます。各時間帯を録画スケジュールで設定すると異なる4つのスケジュールに設定できる機能です。「イベント、録画、アラーム、保持時間、ログ、Push通知」の設定値をスケジュール1~スケジュール4に設定した後、設定に合わせて適用することができます。



設定

3-3-2 イベント

各チャンネルに対して「モーション、センサー、音声検知、テキスト入力」の「オン、オフ」を設定できます。
「メニュー」➔「設定」➔「録画」➔「イベント」を選択します。

3-3-3 録画

録画するチャンネルの設定を変更できます。
「メニュー」➔「設定」➔「録画」➔「録画」を選択します。



＜録画設定画面＞

録画機能	
解像度	チャンネルの解像度を設定
画質	「最低、低、中、高、最高」の中から設定可
通常 記録レート	イベントに関係なく、設定フレームで録画 「オフ、1~30」の中から設定可
イベント 記録レート	設定したイベントが発生した場合の録画フレーム数 「オフ、1~30」の中から設定可
音声記録	音声記録の「オン、オフ」
テキスト	テキストの「オン、オフ」

3-3-4 アラーム

イベント発生時にアラームを発生させます。（ブザー、PTZプリセット、メール、リレー、スポット、ポップアップ）
「メニュー」➔「設定」➔「録画」➔「アラーム」を選択します。



＜アラーム設定画面＞

アラーム機能	
ブザー	ブザーの「オン、オフ」
PTZプリセット	「1~15」の中から設定可
メール	メール送信の「オン、オフ」
リレー	「オフ、1」の中から設定可
スポット	スポットの「オン、オフ」
ポップアップ	ポップアップの「オン、オフ」

3-3-5 保持時間

「プリアラーム、ポストアラーム」の設定ができます。
「メニュー」➔「設定」➔「録画」➔「保持時間」を選択します。



＜保持時間設定画面＞

保持時間機能	
プリアラーム	プリアラームの「オン、オフ」 ※プリアラームはイベント発生時点の5秒前 まで映像を保存
ポストアラーム	「5秒、10秒、15秒、20秒、60秒、150秒、 300秒」の中から設定可

設定

3-3-6 ログ

「モーション、センサー、音声検知、テキスト」イベントが発生した時のログ記録に対する設定ができます。
「メニュー」➔「設定」➔「録画」➔「録画」を選択します。



＜ログ設定画面＞

ログ記録	
モーション	モーションイベント発生時のログ記録「オン、オフ」
センサー	センサーイベント発生時のログ記録「オン、オフ」
音声検知	音声イベント発生時のログ記録「オン、オフ」
テキスト入力	テキスト発生時のログ記録「オン、オフ」

3-3-7 Push通知

「モーション、センサー、音声検知、テキスト」イベントが発生した時のPush通知設定ができます。
「メニュー」➔「設定」➔「録画」➔「Push通知」を選択します。



＜アラーム設定画面＞

Push通知	
モーション	モーションイベント発生時のPush通知「オン、オフ」
センサー	センサーイベント発生時のPush通知「オン、オフ」
音声検知	音声イベント発生時のPush通知「オン、オフ」
テキスト入力	テキスト発生時のPush通知「オン、オフ」

3-4 スケジュール

設定した録画設定(1~4)を「曜日、時間」単位で適用する機能です。
「メニュー」➔「設定」➔「スケジュール」を選択します。
録画設定に関しましては「3-3 録画」をご参照ください。



＜設定メニュー画面＞



＜スケジュール設定画面＞

設定

3-4-1 スケジュール設定

① 録画設定1、録画設定2、録画設定3、録画設定4のいずれかのスケジュールを選択します。



② 適用する「曜日、時間」の部分を選択して録画設定を変更します。



※ マウスドラックで複数の時間帯を選択することもできます。

③ 時間別の一括適用



「0~23」時間部分を選択すると、その時間帯全体に設定が適用されます。

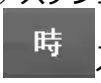
④ 曜日別の一括適用



※参考資料として横回転した図

「日~休日」曜日部分を選択すると、その曜日全体に設定が適用されます。

⑤ スケジュール全てを一括適用



スケジュール表の「時」を選択すると、全体に設定が適用されます。

⑥ 休日登録

ユーザー設定でスケジュールに休日を設定する機能です。下部の「休日」を選択します。

※「スケジュール」で休日と曜日の日付が同じ場合は、休日のスケジュール設定を優先します。
※ 指定された休日は緑色の「タグ」が表示されます。



＜休日設定前の画面＞



＜休日設定後の画面＞

3-5 ストレージ

画像保存制限、上書き録画の設定、ハードディスクの管理ができます。
「メニュー」➔「設定」➔「ストレージ」を選択します。

3-5-1 画像保存制限

録画日数を制限する機能です。「オフ、1日、7日、30日、ユーザー設定(1~99)」で設定できます。



＜画像保存制限設定画面＞

3-5-2 HDD上書き

オン	HDD空き容量がない場合、最も古い映像から上書します。
オフ	HDD空き容量がない場合、録画を停止します。



＜上書き録画設定画面＞

3-5-3 ハードディスク管理

ハードディスク管理は、システム内部に搭載されたハードウェアやUSBポートに挿入された全てのストレージデバイスが対象になります。ストレージデバイスは「録画、バックアップ、新規」に分類・管理され以下の機能を提供します。

録画、バックアップ、新規機能説明(共通)	
番号	ハードウェアの接続番号を表示
タイプ	ハードウェアの接続タイプを表示
シリアル番号	ハードウェアのシリアル番号を表示
温度	ハードウェアの温度を表示
容量(空/全)	ハードウェアの空き容量及び全体容量を表示
状態(SW/HW)	ハードウェアのソフトウェア及びハードウェアの状態を表示

● 録画

録画用ストレージ。録画用ストレージはハードディスクに映像をリアルタイムで保存します。
デバイス情報をダブルクリックすると「新規、S.M.A.R.T」項目が表示されます。
ストレージデバイスによって[S.M.A.R.T」機能を使用できない場合もあります。

新規	録画用のストレージデバイスを初期化し、新規タブに移動
S.M.A.R.T	ストレージデバイスの内部状況を確認(自己診断機能)



<ハードディスク管理-録画タブ画面>

● ハードディスク

バックアップストレージデバイスはバックアップ専用のストレージデバイスになります。
USBメモリーカードなどもしくは新規タブから「バックアップフォーマット」機能を使用し、移動させたストレージデバイスになります。

新規	バックアップ用のストレージデバイスを初期化し、新規タブに移動
S.M.A.R.T	ストレージデバイスの内部状況を確認(自己診断機能)



<ハードディスク管理-バックアップタブ画面>

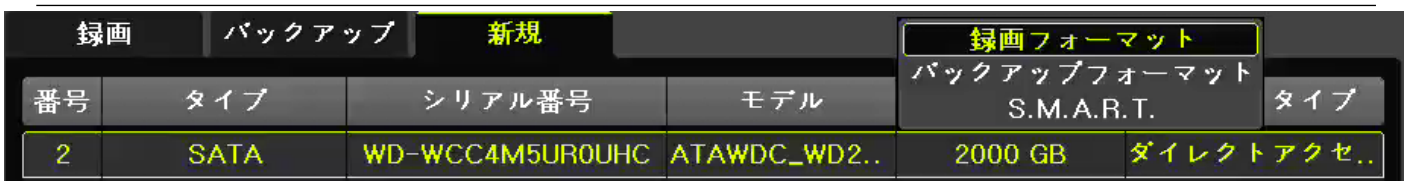
● 新規

DVRに新しく接続されたストレージデバイスもしくは「録画、バックアップタブ」のストレージデバイスを「新規」機能を使用して初期化・移動させたストレージデバイスを管理する機能です。新規タブでは「録画用、バックアップ用」にフォーマットして専用ストレージデバイスに設定することができます。

録画フォーマット	選択したストレージデバイスを録画用のストレージに変更します。
バックアップフォーマット	選択したストレージデバイスをバックアップ用のストレージに変更します。

Caution

認識されたストレージデバイスの中で1つ以上は必ず録画用のストレージデバイスとして選択しなければなりません。
録画用のストレージデバイスを設定しない場合、リアルタイムで映像を保存することができません。



<ハードディスク管理-新規タブ画面>

設定

3-6 ネットワーク

「Ethernet、DDNS、メール、帯域、RTSP」ネットワーク全般の設定を変更できます。
「メニュー」➔「ネットワーク」を選択します。



＜設定メニュー画面＞



＜ネットワーク設定画面＞

3-6-1 イーサネット(Ethernet)

イーサネット設定は、遠隔地で「CMS、Web、モバイルアプリケーション」利用してアクセスするための機能です。
初期値は「DHCP」で設定されています。「DHCP」はルーターから自動的にIPアドレスを割り当てることができる機能です。「DHCP」使用を推奨しますが、直接IP設定をご希望する場合は「DHCP」のチェックをはずしてから固定IPとして設定することができます。
「メニュー」➔「設定」➔「ネットワーク」➔「Ethernet」を選択します。
※「IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS1、DNS2、ポート、UPnP」を設定できます。

Ethernet機能説明	
DHCP	「IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ」の割り当て方法を設定できます。 オン：接続されているネットワーク内のDHCPサーバーから自動で「IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ」を取得します。 オフ：直接「IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ」入力ができます。(固定IP)
IPアドレス	DHCPをオフに設定している場合のみ、入力できます。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
DNS	DNSの割り当て方法を設定できます。 オン：接続されているネットワーク内のサーバーから自動で取得します。 オフ：直接入力できます。
DNS1	DNSをオフに設定している場合のみ、入力できます。 ※ DHCPを「オフ」に設定している場合は「オン」にできません。
DNS2	
クライアントポート	ユーザーが接続するためのポートであり、初期値は「50100」に設定されています。 ※ ファイアウォールなどネットワーク環境により、任意の数値の設定ができます。 ※ 入力範囲：2000~65400
Webサーバーポート	WebサーバーポートはDVR監視のために使用するポートであり、初期値は「80」です。 ※ 入力範囲：80、2000 ~ 65400
※「クライアントポート、Webサーバーポート」は初期値「50100、80」使用を推奨します。	
UPnP	設定したポートをルーターのポートまで自動的に関連付ける機能です。 この機能を設定する場合、ルーターのポートフォワーディング設定は不要です。ルーターがUPnP機能を対応しない場合は、「クライアントポート、Webサーバーポート」のポートフォワーディング設定を行ってください。
HTTPS	この機能を使用するためには認証書の発行が必要となります。なお、2年ごとにファームウェアの変更を必要とします。認証書なしで使用する場合はブラウザ上で正常に出力されない可能性があります。

設定

3-6-2 DDNS

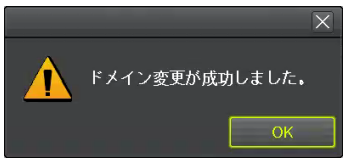
DDNS(Dynamic Domain Name System)サービスとはDNSシステムの一環としてホスト名に該当IPアドレスを更新することができるシステムであり、動的IP(DHCP)環境でもURL接続ができるようにDynamicDNSを提供します。インターネットWebブラウザを通じて接続、遠隔地の映像監視(モニタリング)することができます。

① 「メニュー」➔「設定」➔「ネットワーク」➔「DDNS」➔「1.DDNS」を選択します。
② DDNS名を入力後、保存するとDDNS名の登録手続きが自動的に行われます。DDNS名は最小2文字以上、最大20文字まで設定できます。(初期DDNS名はDVRのMacアドレスが使用されます。)
③ DDNSのドメイン名がDDNSサーバーに既に登録されている場合は他のドメイン名を使用してください。
④ 設定が完了されましたら、保存を選択します。
⑤ テストボタンを押すと変更の正常有無を確認できます。
※ テスト結果が「失敗」の場合には最初から設定を再び行ってください。

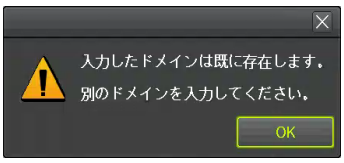
※ ポート「5301」の開放が必要になる場合もあります。



<DDNS設定画面>



<ドメイン変更正常>



<ドメイン名の重複>



<ドメインテスト成功>



<ドメインテスト失敗>

※ 重 要 ※

<PowerDDNSサービスのご利用にあたって>

- ご利用の前に必ずPowerDDNSサービス利用規約をお読みください。
- 本サービスの利用手続きにおいて、「設定」➔「ネットワーク」➔「DDNS」メニューでの「保存」作業を行った時点で本利用規約に同意したことになるます。

<PowerDDNSサービス利用規約>

- 弊社は本サービスに関連して発生したいかなる損害について、一切の責任を負いません。本サービスの利用は、ユーザー自身の責任で行ってください。
- 弊社は本サービスについて、事前に通知することなく、いつでもサービスの条件及び内容を変更、停止、中止できるものとします。
- ユーザーは法的に違反する行為、権利侵害、公序良俗に反する違反などを行わないものとします。
- 弊社がユーザーとして不適当と判断した場合や、長期にわたりサービスの利用が見られない場合、登録データ等の変更、削除を行うことがあります。

設定

3-6-3 メール

メール機能はシステムエラー、イベント発生時にアラームを電子メールで送信する機能です。
SMTPサーバー初期値はGmailに設定されています。受信アドレスは最大5つまで設定できます。
映像イメージ添付機能を使用できます。メールを送信する送信間隔は「5秒、1分、3分、5分、10分」です。
「メニュー」➔「設定」➔「ネットワーク」➔「メール」を選択します。



＜設定メニュー画面＞



＜メール設定画面＞

※ イベント発生時のメール受信設定

「メニュー」➔「設定」➔「録画」➔「アラーム」➔「メール」➔「オン」に設定することでイベント発生時にメールを受信することができます。

※ システムエラー発生時のメール受信設定

「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「アラーム動作」➔「アラーム動作」➔「メール」➔「オン」に設定することでシステムエラー発生時にメールを受信することができます。



＜イベントメール受信設定画面＞



＜システムエラーメール受信設定画面＞

3-6-4 帯域

ネットワークを利用したライブ映像を出力する時、映像の「画像サイズ、画質」などを調整及び帯域を制限することができます。「メニュー」➔「設定」➔「ネットワーク」➔「帯域」を選択します。

※ モバイル機器での映像閲覧時にデータの使い過ぎを防止するためにネットワーク(遠隔)の解像度を設定することができます。



＜帯域設定画面＞

送信 コーデック	ネットワークに送信する映像のコーデック 「H.264、H.265」の中から選択可
ビデオ 品質	遠隔接続時、ネットワークに送信する映像の画質「低、中、高」の中から選択可
ライブ 解像度	遠隔接続時、ネットワークに送信する映像の解像度「CIF、2CIF、D1、960H、720P、1080P、REC Video Byapss」中から選択可
早送り 解像度	遠隔接続時時、早送り再生時の解像度「CIF、2CIF、D1、960H、720P、1080P」の中から選択可
Live Audio Transmission	選択したCHのライブ音声を伝送
帯域制限	ネットワーク帯域幅の制限「制限なし、128Kbps、256Kbps、512Kbps、1Mbps、2Mbps、4Mbps、8Mbps」の中から選択可

3-6-5 RTSP

RTSPサービスはライブ映像のビデオストリームをRTSPプロトコルで送信し、同じネットワーク上にある他の機器(GF-EXR、GF-NVR製品)にIPカメラとして表示させることができる機能です。

① RTSP Service Enableを「オン」にした後、RTSPポートを設定します。
② 下記の図の例の様にRTSPアドレスを入力するとカメラの映像が映ります。
※ システムコーデックを確認してください。システムコーデックを対応しない場合、映像が表示されない場合があいります。例）H.265未対応機種にH.265コーデックで送信する場合、映像未表示など

例）EX-SDIモデルに登録

① 「メニュー」➔「設定」➔「IPカメラ」➔「登録」➔「CHをダブルクリック」するとメニューが表示されます。
② メニューの中から「RTSP URL」を選択して、「ストリーム」に設定したRTSP情報を入力します。
例) rtsp://192.168.253.110:8554/live_01
③ 「ユーザー名、パスワード」を入力して登録ボタンを選択します。



＜RTSP設定画面＞



＜EX-SDIモデル：RTSP登録画面＞

設定

3-7 システム

システム設定を変更できるメニューです。
「メニュー」➔「設定」➔「システム」を選択します。



＜システムメニュー画面＞

システムメニュー機能説明	
リモコン使用	リモコン使用の設定「オン、オフ」
ユーザー設定	ユーザーの変更、追加、削除
アップグレード	機器の「システムファームウェア、設定データ、ロゴ」を変更
工場出荷時設定	初期化(全てのデータを工場出荷時のデータに初期化)
アラーム動作	システムエラーイベントのアラームを設定
アラーム保持時間	アラーム動作の周期を設定
自動ログアウト	操作がない場合、自動的にログアウトする(設定時間による)
言語	システム言語を設定　※計23か国語
ビデオロス検知時間	ビデオロスが発生した場合のビデオロス検知時間を設定　※1~5秒
システムコーデック	標準圧縮方法を設定「H.264、H.265」
再生時ユーザー認証	オンに設定すると、録画データ再生時に「２つのアカウント」で認証が必要となる設定
ログアウト時映像非表示	ログアウト状態でのライブビュー映像表示の有無を設定

設定

3-7-1 ユーザー設定

システムを運用するユーザー情報を「変更、追加、削除」することができます。
DVR初期ID「admin(管理者)」と「user1~user14」まで最大15アカウントを「変更、追加、削除」することができます。ユーザーIDとパスワード設定及びユーザーが操作できる範囲の権限を付与することができます。



● ユーザー変更

admin(管理者)を含め、追加されたユーザーのIDやパスワード、権限など設定することができます。
権限に関する内容は「※ユーザー追加」をご参照ください。

ユーザー変更機能は権限によって使用機能に制限があります。

「admin：全ての機能使用可、各ユーザー：ログインしたアカウントのみ「ID、パスワード変更可」

● ユーザー追加

ユーザーアカウントを追加する機能です。ユーザーは最大14アカウントまで追加することができます。
ユーザー追加機能は「admin(管理者)」アカウントのみ操作できる機能です。



<ユーザー変更、追加設定画面>

ユーザー変更、追加の機能説明	
ユーザー名	最大14文字までユーザー名を設定可 ※adminは変更不可
パスワード	パスワード設定 ※パスワードは「8文字以上、アルファベット・数字・特殊文字」を含めてください。 最大31文字まで可 連続した3文字以上の文字は使用できません。例) 123、345、abc、ABC 等
ネットワークライブ表示	ネットワーク(Netus-Pro、CCTV Smart Viewer、Event Spider)で接続する時のライブ画面表示設定
再生	録画データの再生権限を設定
バックアップ	録画データ、ログ、設定データ、スナップショットのバックアップ機能使用権限を設定
PTZ	PTZ制御の権限を設定
リモートアップグレード	ネットワークでの遠隔アップグレード権限を設定
リモートアクセススケジュール	設定(許可)した時間帯のみ接続できる機能 ※ adminは非該当
カメラ表示	各チャンネル別に権限を設定

● ユーザー削除

ユーザー削除は追加されたアカウントを削除する機能です。
ユーザーアカウントの削除は「admin(管理者)」アカウントのみ操作できる機能です。

設定

3-7-2 アップグレード

USB2.0ストレージデバイス、ポータブルストレージデバイスなどで機器の「ファームウェア、設定データ、ロゴ」アップグレードすることができます。

※ 製品に合うアップグレードファイルを準備してUSB2.0外付けストレージデバイス、ポータブルストレージデバイスなどを使用してデバイスの最上位のフォルダーにコピーして使用します。

※ PCからのアップグレードファイルをコピーした後、PCでUSBデバイスを取り外す際には「ハードウェアの取り出し」を利用してUSBポートから取り外すことを推奨します。
※ もし、アップグレードファイルが完全にコピーされていない状態でUSBデバイスを取り外すとDVRシステムで自動認識できない可能性もあります。

Caution

※ アップグレードの途中にUSBを取り外すとシステム損傷の恐れがあります。
※ アップグレードが完了すると自動的にシステムが再起動されます。



● ファームウェアのアップグレード

① ストレージデバイスに正しいファームウェアを入れてからDVR本体のUSBポートに挿入し、認識させます。
② 「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「アップグレード」➔「ファームウェア」を選択します。
③ ファームウェアアップグレード画面が表示され、ストレージデバイスに入っているファイルがリストで表示されます。
④ 「ファイル名」のリストから該当するファイルを選択すると「ファイル情報」にファイルの情報が表示されます。
⑤ ファイルを確認したうえ、アップグレードするファイルをダブルクリックするとアップグレード有無を選択出来ます。
⑥ 「はい」を選択するとアップグレードが開始され、アップグレードが終了されると機器を再起動します。



<ファームウェアアップグレード画面①>



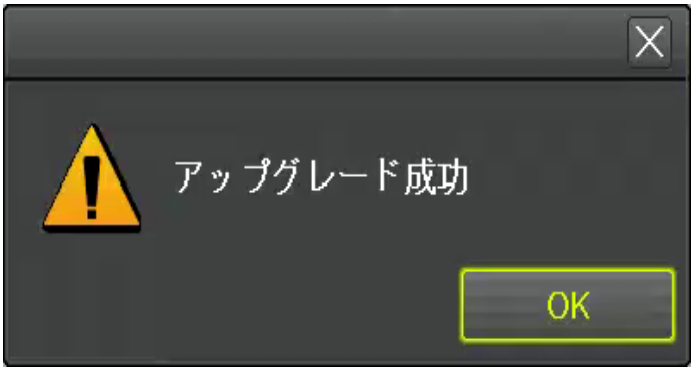
<ファームウェアアップグレード画面②>

● 設定データのアップグレード

① ストレージデバイスに正しい設定データを入れてからDVR本体のUSBポートに挿入し、認識させます。
② 「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「アップグレード」➔「設定データ」を選択します。
③ 設定データアップグレードが表示され、ストレージデバイスに入っている設定データが表示されます。
④ 「ファイル名」のリストから該当するファイルを選択すると「ファイル情報」にファイルの情報が表示されます。
⑤ ファイルを確認したうえ、アップグレードするファイルをダブルクリックすると自動的にアップグレードされます。
※ ファイルをダブルクリックすることで自動的に設定データがアップグレードされますので、ご注意ください。



<設定データアップグレード画面>



<設定データアップグレード成功画面>

設定

● Logo変更

機器起動時のロゴ画面を変更する機能です。
① ストレージデバイスに正しいイメージファイルを入れてからDVR本体のUSBポートに挿入し、認識させます。
② 「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「アップグレード」➔「Logo」を選択します。
③ Logoアップグレードが表示され、ストレージデバイスに入っている設定データが表示されます。
④ 「ファイル名」のリストから該当するファイルを選択すると「ファイル情報」にファイルの情報が表示されます。
⑤ ファイルを確認したうえ、アップグレードするファイルをダブルクリックすると自動的にアップグレードされます。
※ ファイルをダブルクリックすることで自動的にLogoイメージが変更されますので、ご注意ください。
※ Logo画像は「JPG」形式のみ使用可能であり、推奨サイズは「1280×720」です。



＜Logo画像変更画面＞



＜Logoアップグレード成功画面＞

3-7-3 工場出荷時設定

「工場出荷時設定」は全ての設定値を初期値に戻す機能です。
「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「工場出荷時設定」を選択します。

Caution
すべての設定値が初期化されますので、ご注意ください。
※ 工場出荷状態の初期値に設定されます。



3-7-4 アラーム動作

システムアラーム「ビデオロス、HDDフル、HDD未検出、HDD異常、HDD警告」を選択し
システムアラーム動作方法を設定することができます。
① 「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「アラーム動作」を選択します。
② アラーム動作では「オフ、ブザー、メール、リレー、ポップアップ表示、Push」の方法でアラームを表現できます。
③ アラームリストでは「ビデオロス、HDDフル、HDD未検出、HDD異常、HDD警告」のアラームを
選択することができます。 ※複数選択可

アラームリスト	
ビデオロス	接続されているカメラの映像が途切れた場合、アラームを発生
HDDフル	使用中のハードディスクの空き容量がないことを検知した場合、アラームを発生 ※上書きモードでは未発生
HDD未検出	ハードディスクを認識できなかった場合、アラーム発生
HDD異常	ハードディスクの温度が65℃以上の場合、アラーム発生
HDD警告	ハードディスクの温度が60℃以上の場合、アラーム発生

アラーム動作	
オフ	「ブザー、メール、リレー、ポップアップ表示、Push」のチェックを全て外す。
ブザー	システムエラーが発生した場合、ブザーでアラームを発生
メール	システムエラーが発生した場合、設定したメールにアラーム内容を送信
リレー	システムエラーが発生した場合、接続されている外部デバイスにリレー信号を出力
ポップアップ表示	システムエラーが発生した場合、ポップアップでアラームを表示
Push	システムエラーが発生した場合、モバイルアプリケーションにPush通知

3-7-5 アラーム保持時間

録画イベントやシステムイベントによって発生したアラームの持続時間を設定する機能です。
①「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「アラーム保持時間」を選択します。
②「ラッチ、5秒、10秒、15秒、ユーザー設定(5-60秒)」の中でアラーム保持時間を設定します。

3-7-6 自動ログアウト

一定時間以上、入力がない場合に自動的にログアウトする機能です。
①「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「自動ログアウト」を選択します。
②「オフ、1分、2分、3分、ユーザー設定(1-60分)」の中で自動ログアウト時間を設定します。

3-7-7 言語

システムの言語を変更することができます。初期値は日本語であり、23か国の言語をサポートします。
※ 日本語以外の言語に設定した後、工場出荷時設定で初期化する場合、日本語に設定されます。
①「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「言語」を選択します。
② 日本語もしくは使用する言語を選択します。

3-7-8 ビデオロス検知時間

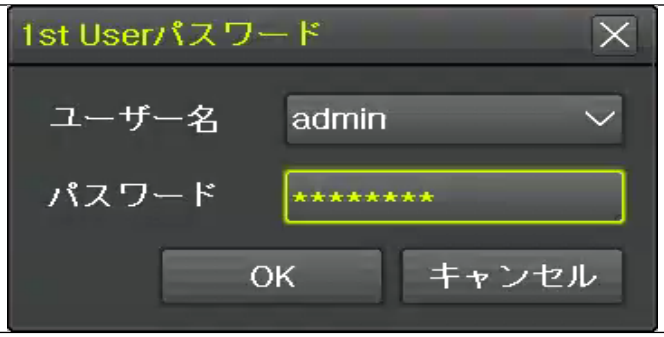
接続されているカメラのビデオロス(映像入力の切断・中断)を検知する時間を設定することができます。
①「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「ビデオロス検知時間」を選択します。
②「1秒、2秒、3秒、4秒、5秒」の中でビデオロス検知時間を設定します。

3-7-9 システムコーデック

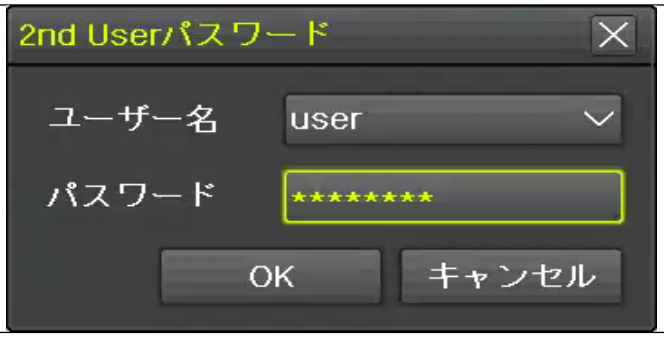
映像ファイルの圧縮方式を設定できます。
①「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「システムコデーック」を選択します。
②「H.265、H.264」の中でシステムコーデックを選択します。

3-7-10 再生時2ユーザー認証

再生時2ユーザー認証を「オン」すると、録画用のハードディスクに保存されている映像データを「再生、検索、バックアップ」メニューがロック状態になり、「権限を持った2つのアカウント」での認証が必要になる機能です。
①「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「再生時2ユーザー認証」を選択します。
②「オン」状態で「再生、検索、バックアップ」機能を使用する際には「権限を持った2つのアカウント」で認証する必要があります。
③「オフ」状態では通常状態であり、「権限を持ったユーザー」は認証なく、「再生、検索、バックアップ」機能を使用することができます。
※ 2つのアカウントは異なるアカウントを使用してください。同じアカウントでは認証できません。
例) 1.管理者 2.管理者 / 1.ユーザー 2.ユーザーは使用不可



＜1回目の認証画面＞



＜2回目の認証画面＞

3-7-11 ログアウト時映像非表示

ログアウト時に映像を非表示状態にする機能です。
①「メニュー」➔「設定」➔「システム」➔「ログアウト時映像非表示」➔「オン」を選択します。
②「オン」状態にすることで「ログアウト状態」ではライブ映像は非表示になります。
※ ライブ映像のみ非表示状態になり、録画は録画設定状態に合わせて録画されます。

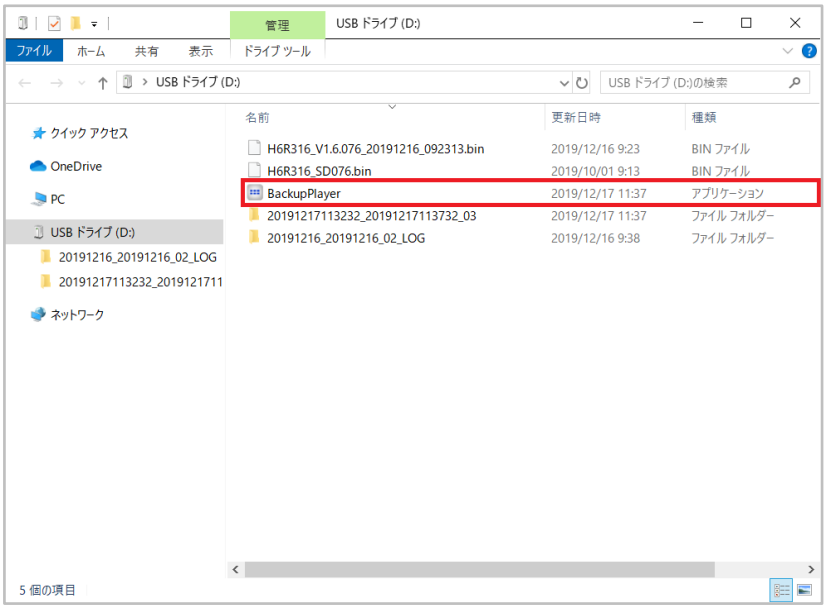
バックアッププレーヤー

4-1 バックアッププレーヤー

バックアッププレーヤー(Backup Player)は、本機器でバックアップ(RMS)したバックアップデータを再生するための専用プレーヤーです。
専用バックアッププレーヤーは映像データを「RMS形式」でバックアップする際にUSBメモリーカードなどバックアップストレージデバイスの最上位フォルダーに自動的に保存されます。

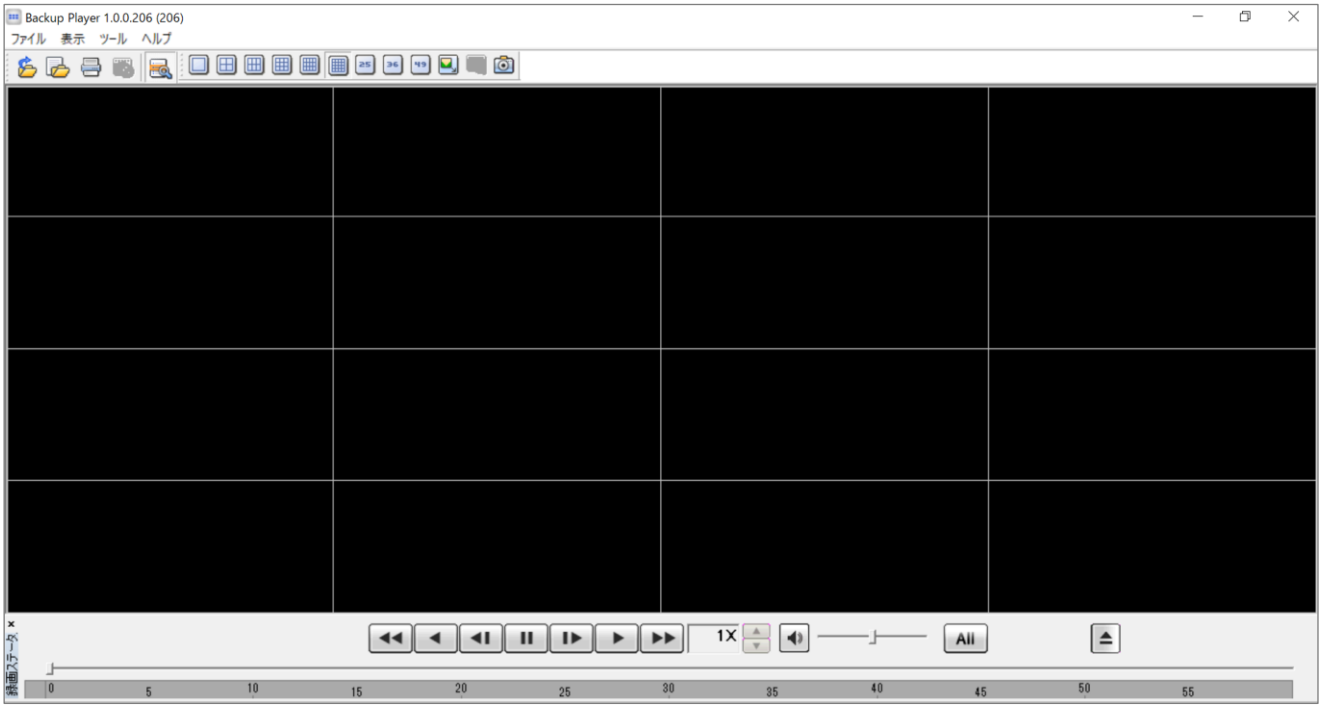


<バックアップ画面>

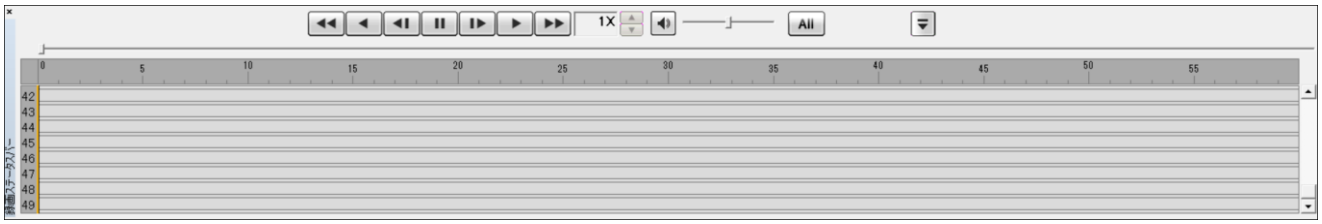


<バックアップストレージデバイス画面>

4-2 バックアッププレーヤー機能



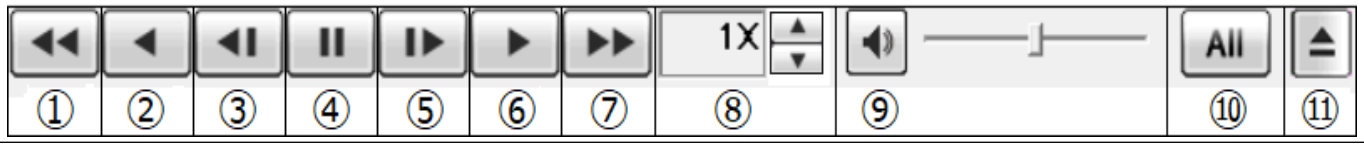
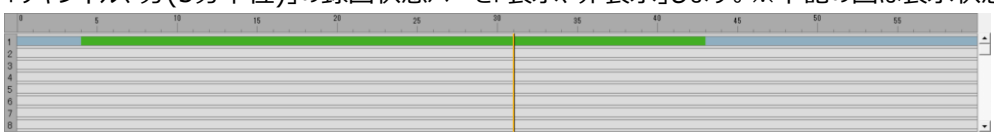
<バックアッププレーヤー画面>



<録画ステータスバー画面>

バックアッププレーヤー

バックアッププレーヤーメニュー機能説明		
		
①	フォルダーを開く	RSM形式でバックアップしたデータをフォルダーごとに開きます。
②	ファイルを開く	RMS形式でバックアップしたデータを個別で開きます。
③	印刷	キャプチャーイメージを保存せず、印刷を実施します。
④	ウォーターマーク検索	バックアップデータの映像損傷有無を検索します。 ※ バックアップ時、映像に損傷がある場合に自動でウォーターマークを挿入します。
⑤	録画ステータスバー	録画ステータスバーの「表示、非表示」設定をします。 ※ 録画ステータスバーの詳細機能は**「録画ステータスバー機能説明」**をご参照ください。
⑥	分割画面	「1、4、6、9、12、16、25、36、49分割画面」の中で分割画面を設定できます。
⑦	フルスクリーンモード	現在の分割画面のモードを維持しながらフルスクリーンモードに切り替わります。 ※ フルスクリーンモードは閲覧専用モードの為、「メニュー、録画ステータスバー」は非表示になります。 ※ フルスクリーンモードの終了はキーボードの「ESC」ボタンを押してください。
⑧	デジタルズーム	「100、150、200、300、500、700、1000、1600%」の倍率の中で選択できます。 ※ デジタルズーム機能を使用するためには「1画面モード」に設定してください。
⑨	キャプチャー	現在の画面をキャプチャーして「bmpファイル」で保存します。

録画ステータスバー機能説明		
		
※ 各モードでの倍速調整は「1画面」状態で調整可能です。		
①	早戻し	「x30」倍速で早戻し再生を開始します。 ※「x30、x60、x90、x120、x150、x180、x210、x240、x270、x300」倍速で調整可。
②	逆再生	「x1」倍速で逆再生を開始します。 ※「x1/30、x1/16、x1/8、x1/4、x1/2、x1、x2、x4、x8、x16、x30」倍速で調整可。
③	フレーム単位逆再生	フレーム単位で逆再生を開始します。
④	一時停止	映像を一時停止します。
⑤	フレーム単位再生	フレーム単位で再生を開始します。
⑥	再生	「x1」倍速で再生を開始します。 ※「x1/30、x1/16、x1/8、x1/4、x1/2、x1、x2、x4、x8、x16、x30」倍速で調整可。
⑦	早送り	「x30」倍速で早送り再生を開始します。 ※「x30、x60、x90、x120、x150、x180、x210、x240、x270、x300」倍速で調整可。
⑧	倍速調整	各モードで 矢印をクリックして倍速を調整します。
⑨	音量調整	スライドバーで音量調整ができます。「音量オン」、「音量オフ」
⑩	録画イベント	録画イベントの種類を選択できます。 All 全てのイベント、C 通常、M モーション、S センサー、A オーディオ P PCDタイム、T テキスト ⑪録画状態表示の図のように色で表現されます。※図は C 通常状態の録画設定です。
⑪	録画状態表示	「チャンネル、分(5分単位)」の録画状態バーを「表示、非表示」します。※下記の図は表示状態。 

ウェブサービス

5-1 ウェブサービス

イーサネット及びポートの設定を使用して「ウェブサービス」を提供しています。
この機能を使用してユーザーはウェブブラウザでDVRの設定と監視することができます。

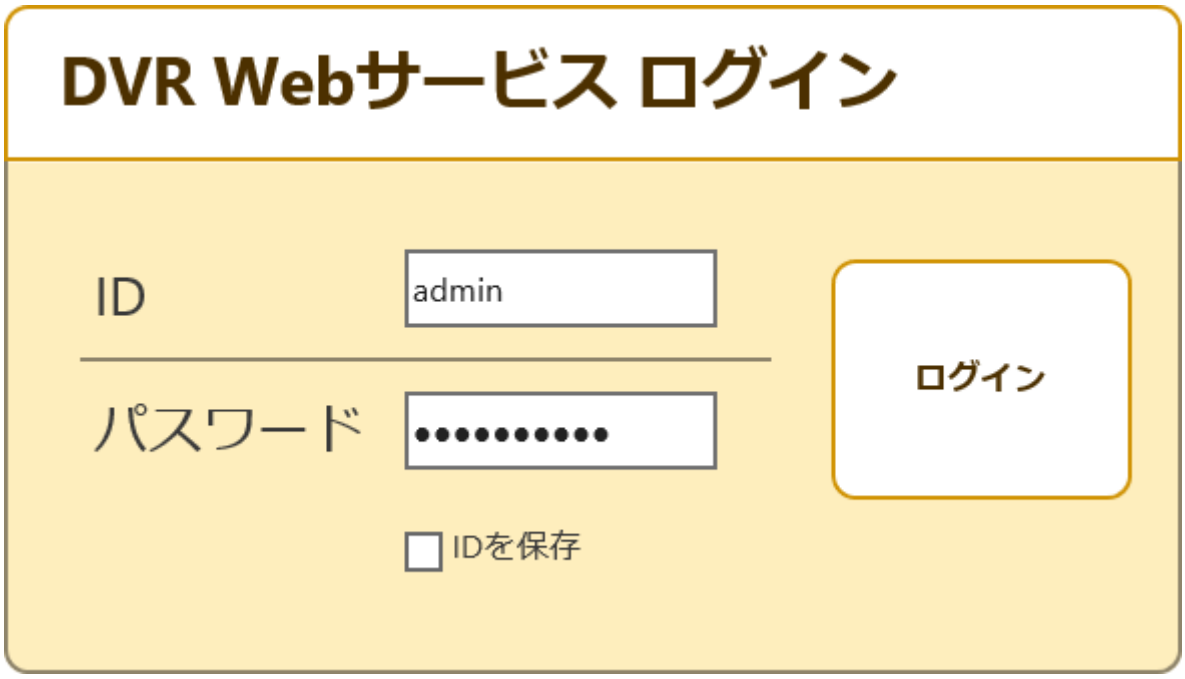
5-1-1 ウェブサービス接続

① DVRの「IPまたはDDNS」を設定した後、「URL、ウェブアクセスポート」を確認します。
② ブラウザを開き、アドレス入力欄に「IPまたはURL:ポート」を入力します。



<ブラウザのアドレス入力欄>

③ 「DVR Webサービスログイン」ページが表示されます。
④ DVRで設定した「ID、パスワード」を入力した後、ログインボタンを選択します。



<ウェブサービスログイン画面>

※ 本サービスは「Internet Explorer」環境に最適化されております。
他のブラウザでは一部の機能もしくは全ての機能が動作しない可能性があります。

使用可能なウェブブラウザ：
・Internet Explorer 10バージョン以上
・Chrome 42.0バージョン以上

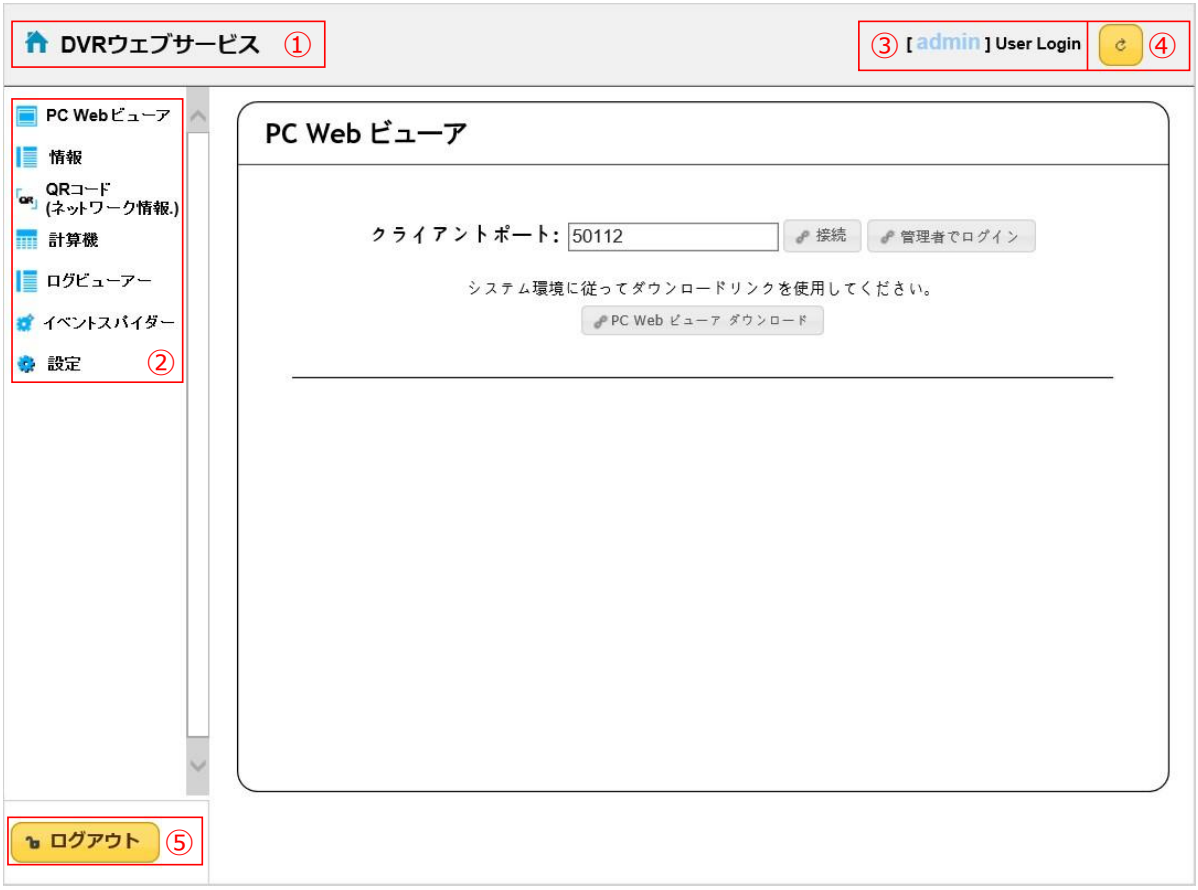
※ 上記に記載されている以前のバージョンのご使用する場合はいくつかの機能が動作しない場合があります。
※ 「PCのウェブビューアー接続」機能使用する場合はInternet Explorerで動作します。

※ 本サービスの一部の機能を使用するためにはインターネットのポップアップブロックを解除する必要があります。
※ 「インターネットオプション」➔「プライバシー」➔「ポップアップブロック」➔「ポップアップブロックを有効にするのチェック解除」もしくは「設定」でサイトを追加してください。

ウェブサービス

5-1-2 ウェブサービス構成

ウェブサービスページで正常にログインされると、以下のようなメインページが表示されます。



＜DVRウェブサービスメイン画面＞

ウェブサービスメインメニュー説明		
①	トップページへ移動	ウェブサービス利用中、トップページに戻る場合にクリックするとトップページに移動します。
②	各機能メニュー	「PC Web ビューアー、DVR情報、QRコード(ネットワーク情報)、計算機、ログビューアー、イベントスパイダー(有料サービス)、設定」メニューを使用できます。
③	ログインID情報	現在、ログイン状態のユーザーの「ID」を表示します。
④	リロード	本ウェブサービスは操作がない場合、5分後に自動的にログアウトします。 自動ログアウトを防ぐ為、リロードボタンをクリックしてください。 ※ 操作することで自動ログアウトの時間は延長されます。
⑤	ログアウト	ログアウトします。ログアウト後には「DVR Webサービスログイン」画面に戻ります。



＜自動ログアウト時の画面＞

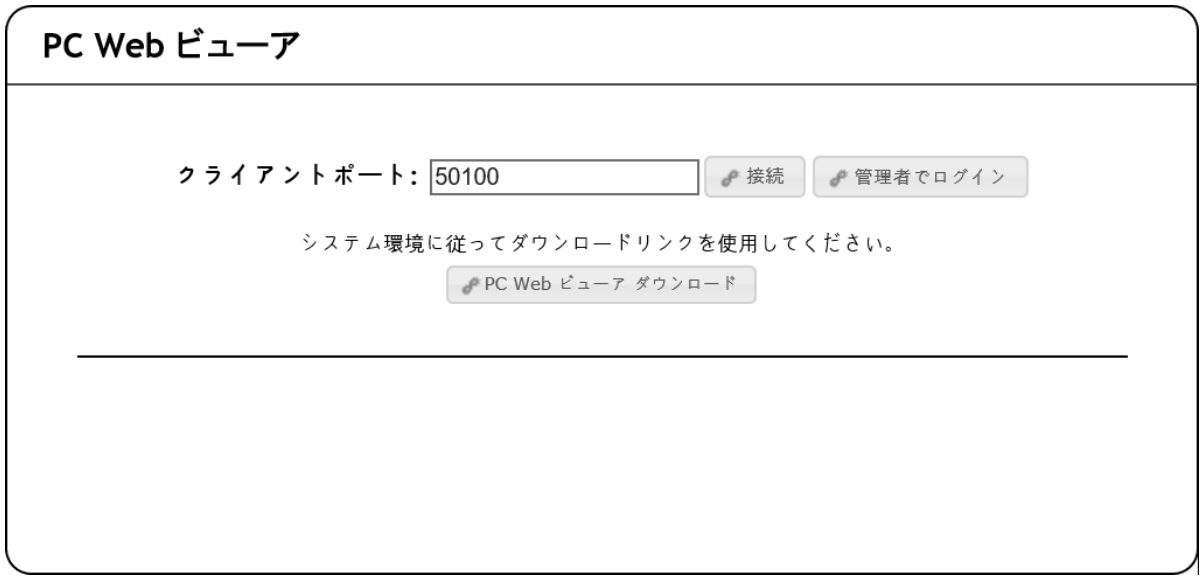
ウェブサービス

5-2 ウェブサービス機能

ウェブサービスページでは「PCウェブビューアー、DVR情報、QRコード情報、録画日数計算、ログビューアー、イベントスパイダー、設定変更」の機能を使用できます。

5-2-1 PC Webビューアー

PCウェブビューアーは、PCブラウザで「ライブ、再生」機能を使用できるソフトウェアです。

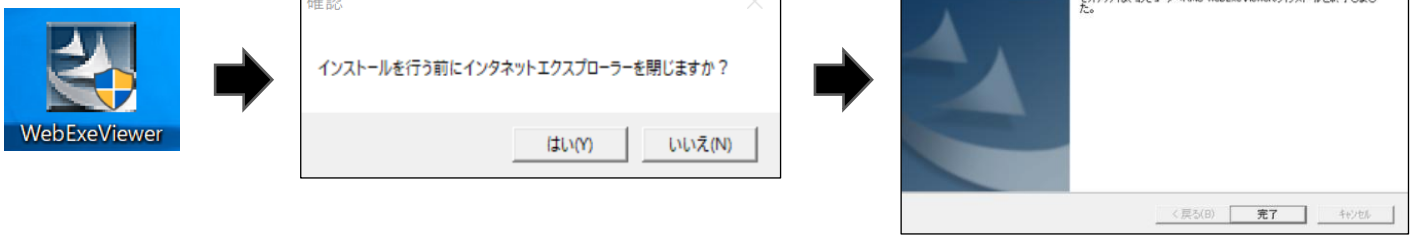


＜PCウェブビューアー画面＞

クライアントポート	PCウェブビューアーに接続する時のポートです。DVRで設定したクライアントポートを入力します。 ※ クライアントポートは自動的に入力されています。
接続	PCウェブビューアーを実行します。
管理者でログイン	管理者(admin)以外のアカウントでログインした場合、管理者権限で再度ログインを行いPCウェブビューアーに接続します。
PC Web ビューアー ダウンロード	PCウェブビューアーに接続するためのソフトウェアをダウンロードします。 ※ システム環境に従ってダウンロードリンクを使用してください。

● PC Webビューアーダウンロード及びインストール

① 「PC Web ビューアーダウンロード」をクリックしてインストールファイルをダウンロードします。
② ダウンロードした「WebExeViewer.exe」ファイルを実行します。
③ 「WebExeViewer.exe」実行すると確認画面が表示されます。
④ 「はい」ボタンを選択するとインストールが自動的に開始されます。



⑤ PCウェブビューアーページに戻り、接続ボタンを選択します。
⑥ 管理者(admin)以外のアカウントでログインした状態で、管理者でPCウェブビューアーを実行させる場合は「管理者でログイン」を選択して、ログインをしてください。
※ 「管理者でログイン」を選択した場合は新しいブラウザが開きます。

ウェブサービス

● PC Webビューアー

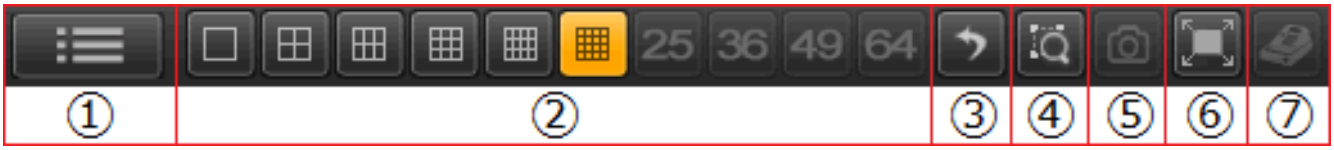


＜PCウェブビューアーライブメニュー＞



＜PCウェブビューアー再生メニュー＞

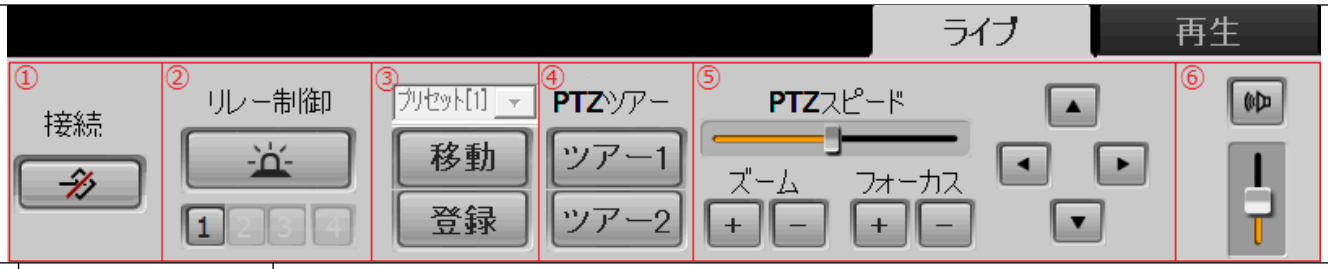
PCウェブビューアーメニュー説明



①	メニュー一覧	クリックするとメニューが表示されます。	
	① DVR 情報 ② アプリケーション設定 ③ カラー調整 ④ DVR設定マネージャー ⑤ アスペクト比固定表示 ⑥ フルスクリーン表示 ⑦ 情報 ＜メニュー表示画面＞	①DVR情報	「ソフトウェア、ハードウェアバージョン、ビデオモード、ハードディスク情報、ネットワーク情報」
		②アプリケーション設定	現在は使用できません。
		③カラー調整	カメラ映像「明るさ、ガンマ、コントラスト、彩度、色合い」調整ができます。
		④DVR設定マネージャー	ウェブサービスページを開きます。
		⑤アスペクト比固定表示	カメラ映像を「短辺、長辺」のアスペクト比を固定で表示します。
		⑥フルスクリーン表示	カメラ映像を「フルスクリーン」で表示します。
		⑦情報	ウェブビューアーのプログラムバージョンの情報を表示します。
②	分割画面	「1、4、6、9、12、16、25、36、49、64分割画面」の中で分割画面を設定できます。 ※ 分割画面は機種によって選択範囲が異なります。	
③	カメラ順次切り替え	カメラ映像を設定値に合わせて順次切り替えます。	
④	ディジタルズーム	選択したチャンネルを「100、150、200、300、500、700、1000、1600%」の倍率で拡大します。	
⑤	スクリーンショット	現在は使用できません。	
⑥	フルスクリーン	ウェブビューアーをフルスクリーンモードに切り替えます。終了時はキーボードの「ESC」を押してください。 ※ フルスクリーンモードではメニュー機能は使用できなくなります。	
⑦	-	現在は使用できません。	

ウェブサービス

PCウェブビューアーライブメニュー説明



①	接続/切断	ウェブビューアーの「接続、切断」操作ができます。
②	リレー制御	リレー出力(1)機能が使用できます。
③	プリセット	PTZカメラのプリセット「登録」及び設定したプリセットへ「移動」できます。
④	PTZツアー	ツアーは「ツアー1、ツアー2」のいずれかを選択して使用できます。
⑤	PTZスピード	「PTZスピード調整、ズーム、フォーカス、方向移動」の機能を使用できます。
⑥	音量	スライドバーで音量調整ができます。 ※ 消音していない状態、 消音状態

PCウェブビューアー再生メニュー説明



①	再生時間	ハードディスクに保存されているデータを時間単位で表示します。 前の時間帯に移動、 次の時間帯に移動、 スライドバーで「分、秒」移動
②	逆再生	「x1、x2、x4、x8、x16、x30、x300」の倍速で逆再生します。
③	フレーム単位逆再生	フレーム単位で逆再生を開始します。
④	一時停止	映像を一時停止します。
⑤	フレーム単位再生	フレーム単位で再生を開始します。
⑥	再生	「x1、x2、x4、x8、x16、x30、x300」の倍速で再生します。
⑦	高機能再生モード	高機能再生モード「オン」、 高機能再生モード「オフ」 高機能再生モード「オフ」状態では「倍速調整、逆再生など」一部の機能は使用できません。
⑧	倍速調整	各再生モードでの倍速を調整します。
⑨	検索	録画データを「日付、時間、分」単位で設定してデータを検索することができます。
⑩	バックアップ	録画データをPCまたはストレージデバイスにバックアップできます。
⑪	音量	スライドバーで音量調整ができます。 ※ 消音していない状態、 消音状態

ウェブサービス

5-2-2 DVR情報

DVR情報は、現在DVR側で設定されている情報を確認する機能です。
「DVR名、ソフトウェアバージョン、ハードウェアバージョン、ハードウェア使用率」などDVRの情報を確認できます。

情報		情報
1. System ID: 000000000000		6. ハードディスク情報 (上書き: オン)
2. Software: V3.8.007_6.7		合計容量: 1000 GB
3. Hardware: V1.0 (STD3-4.0)		空き容量: 37 GB
CPU Usage: 61%		開始日時 : 2022/06/07 08:00:00 (201)
Memory Usage: 47%		終了日時 : 2022/06/13 17:00:00 (201)
System Uptime: 4 days, 01:32		7. ネットワークタイプ: DHCP
4. CLOUD サーバーアドレス: sd.cctvuser.net		IPアドレス: 192.168.253.15 (180.36.52.217)
5. ビデオモード: NTSC, FHD(1920x1080), H.265		クライアントポート: 50112
CH 01: T-5MP20(AD)	CH 02: T-5MP20(AD)	Webポート: 50113
CH 03: T-5MP20(AD)	CH 04: T-5MP20(AD)	UPnP: オフ
CH 05: T-5MP20(AD)	CH 06: T-5MP20(AD)	MACアドレス: 00:00:00:00:00:00
CH 07: T-5MP20(AD)	CH 08: T-5MP20(AD)	

＜DVR情報画面＞

5-2-3 QRコード(ネットワーク情報.)

QRコードをモバイル機器でスキャンしてDVRに接続することができる機能です。
「IPアドレス(外部、内部)、DDNS情報、クライアントポート、ユーザー名」の情報が表示されます。
※ モバイルアプリケーション接続方法は「2-14 QRコード(ネットワーク情報)」をご参照ください。



＜QRコード(ネットワーク情報.)画面＞

ウェブサービス

5-2-4 計算機

「録画設定、ハードディスク容量、ハードディスク数」によって録画日数を計算できます。

チャンネル	録画画質	録画解像度	フレームレート(フレーム/秒)	Recording Hour a Day (Hours)
CH 01	最高	4K	30	24
CH 02	最高	4K	30	24
CH 03	最高	4K	30	24
CH 04	最高	4K	30	24
CH 05	最高	4K	30	24
CH 06	最高	4K	30	24
CH 07	最高	4K	30	24
CH 08	最高	4K	30	24

[注意]：この計算結果は推定値であり実際の録画時間を保証するものではありません。

HDD容量 (GB) 数

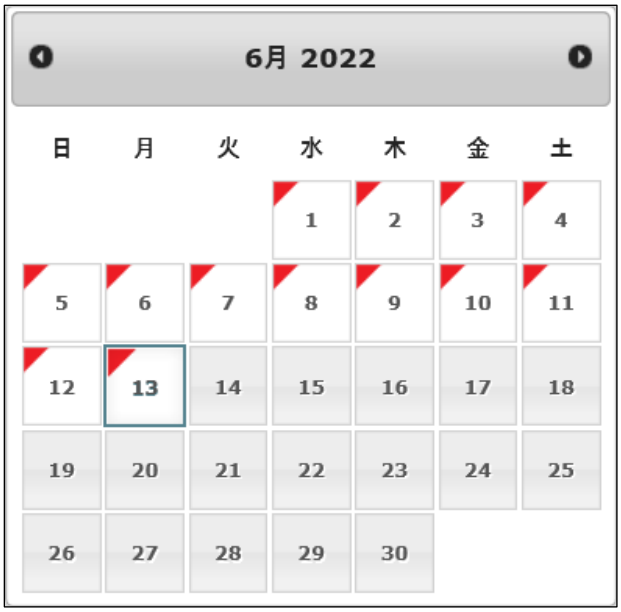
計算 リセット

<録画日数計算機>

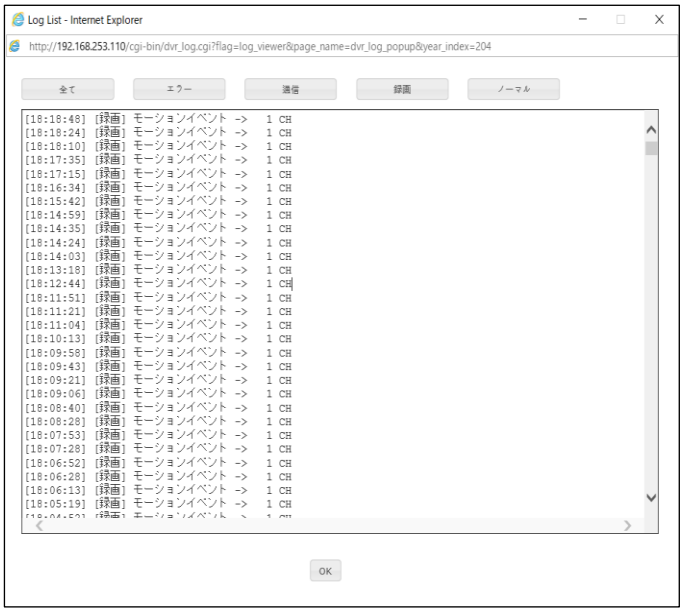
録画画質	「最低、低、中、高、最高」の中で録画画質を選択します。
録画解像度	「4K、5MP、4MP、3MP、1080P、720P、960H、D1、2CIF、CIF」の中で録画解像度を選択します。
フレームレート(フレーム/秒)	「オフ、1~30」の中で1秒あたりのフレーム数を選択します。
Recording Hour a Day(Hour)	1日何時間録画を行うか「1~24時間」の中で選択します。
HDD容量	計算に必要なハードディスクの容量を入力します。
数	ハードディスクの台数を入力します。
設定変更	上記の図の「赤枠」部分をクリックすると全チャンネルの設定をまとめて変更することができます。

5-2-5 ログビューアー

DVRシステムの電源「オン、オフ」、システム設定、ネットワーク「接続、解除」など、システム動作ログ情報を検索します。「全て、エラー、通信、録画、ノーマル」5種類に分けて検索できます。



<ログビューアー日付選択画面>

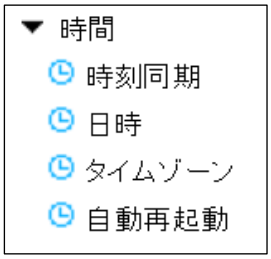


<ログリスト画面>

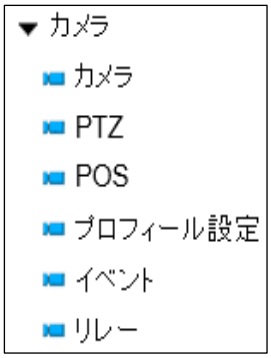
ウェブサービス

5-2-6 設定

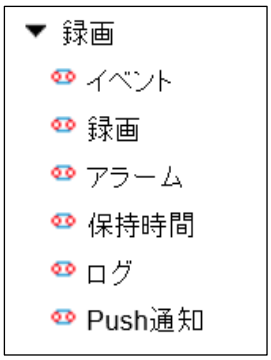
DVRの「時間、カメラ、録画、スケジュール、ストレージ、ネットワーク、システム」の設定を変更できます。



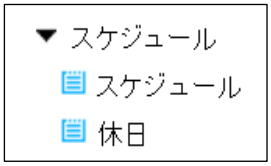
※ 本機能の詳細説明に関しましては「3-1 時間」をご参照ください。	
時間同期	タイムサーバーとの時間同期の機能を使用できます。
日時	日付表示形式の変更、日時の手動変更の機能を使用できます。
タイムゾーン	タイムサーバーと同期する地域を選択出来ます。
自動再起動	DVRの自動再起動の機能を使用できます。



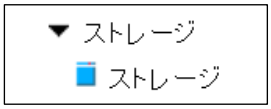
※ 本機能の詳細説明に関しましては「3-2 カメラ」をご参照ください。	
カメラ	接続「オン、オフ」、カメラ名称、PZマスク、カメラの接続タイプの設定ができます。
PTZ	プロトコル、カメラID、ボーレート、address、停止時間、ツアーの設定ができます。
POS	プロファイル、IP/USB Serial、文字コード、表示時間の設定ができます。
Profile Set	Profileのルールタイプを設定ができます。
イベント	モーションエリア、モーション感度、音声感度、センサータイプの設定ができます。
リレー	リレー出力のタイプの設定ができます。



※ 本機能の詳細説明に関しましては「3-3 録画」をご参照ください。	
イベント	モーション、センサー、音声検知、テキストのイベント設定ができます。
録画	解像度、画質、通常/イベント記録レート、音声記録、テキストの録画設定ができます。
アラーム	ブザー、PTZプリセット、メール、リレーなどアラーム機能の「オン、オフ」設定ができます。
保持時間	プリアラーム、ポストアラームのアラーム保持時間の設定ができます。
ログ	モーション、センサー、音声検知、テキストのイベント発生時のログ記録設定ができます。
Push通知	モーション、センサー、音声検知、テキストのイベント発生時のPush通知設定ができます。



※ 本機能の詳細説明に関しましては「3-4 スケージュール」をご参照ください。	
スケジュール	録画スケージュールを設定ができます。
休日	録画スケージュールの休日設定ができます。



※ 本機能の詳細説明に関しましては「3-5 ストレージ」をご参照ください。	
ストレージ	画像保存制限、上書き録画の設定及びハードデイスク情報を確認できます。



※ 本機能の詳細説明に関しましては「3-6 ネットワーク」をご参照ください。	
Ethernet	DHCP、DNS、ポート、UPnP(自動Port)の設定ができます。
DDNS	DDNS設定、ドメイン名の変更、DDNSホスト設定ができます。
メール	システムエラー、イベントの発生時にメールで通知を送る設定ができます。
帯域	ネットワーク送信ライブ映像を出力する時の画質、コーデックなどの設定ができます。
RTSP	ライブ映像のビデオストリームをRTSPポートを設定できます。



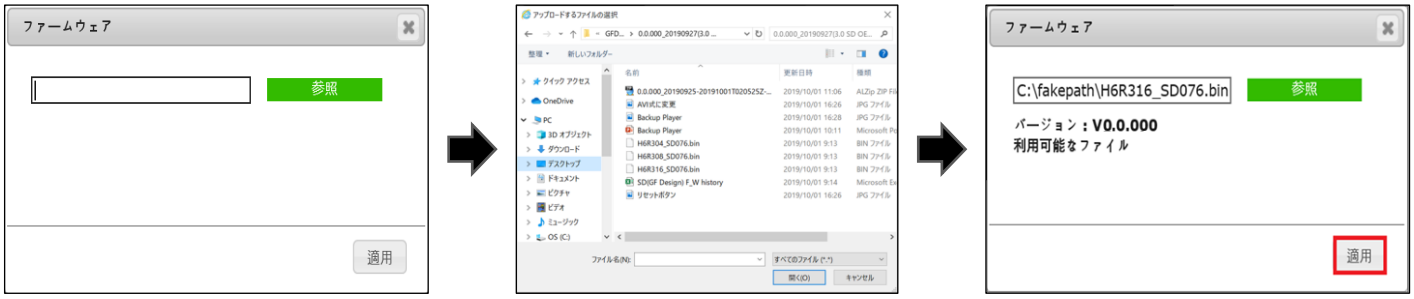
※ 本機能の詳細説明に関しましては「3-7 システム」をご参照ください。	
システム	DVR名の変更、ユーザー設定、アップグレード、環境設定、工場出荷時設定、 アラーム動作、アラーム保持時間などシステム全般の設定変更ができます。

ウェブサービス

5-3 遠隔ファームウェアアップグレード

DVRウェブサービスページでは、DVRから離れている(遠隔地)場所からネットワークを利用してファームウェアアップグレードすることができます。
「ウェブサービス」➔「ログイン」➔「設定」➔「システム」➔「4.アップグレード」を選択します。





※ 適用ボタンを選択するとアップグレードが開始られ、自動的に再起動をします。

別添

推奨するPTZカメラのプロトコル

番号	メーカー	モデル	プロトコル
1	HONEYWELL	SCANDOME2	HSDN-251
2	LG	LG	LG_MULTIX
			LG_OLD
3	PANASONIC	WVCS854	WVCS854
4	PELCO	PELCO	PELCO-D
			PELCO-P
5	SAMSUNG TECHWIN	SAMSUNG	SPD-1600
			SCC641
6	HITRON	FASTRAX2	FASTRAX2
7	COAX	COAX_OSD	UTP/Coaxitron OSD
		COAX_PTZ	UTP/Coaxitron PTZ


GFDesign